

# 2021年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2021年2月10日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（[https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券と同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 1」または「SVF1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド 2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSoftBank Latin America Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA及びSBLAは、SBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド 1 及びビジョン・ファンド 2 を含むSBIAによって運営されているSBファンドはSBIA単独で運営され、またラテンアメリカ・ファンドはSBLA単独で運営されています。

## 本資料における為替換算レート

期中平均レート	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4
1米ドル	110.00	107.70	108.98	109.22	107.74	105.88	104.45	
1人民元	16.13	15.37	15.46	15.56	15.16	15.27	15.71	
期末レート	2019/6月末	2019/9月末	2019/12月末	2020/3月末	2020/6月末	2020/9月末	2020/12月末	2021/3月末
1米ドル				108.83			103.50	
1人民元				15.31			15.88	

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
SVF 1 or ソフトバンク・ビジョン・ファンド 1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF 2 or ソフトバンク・ビジョン・ファンド 2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.および代替の投資ビークル
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
スプリント	Sprint Corporation
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
アーム	Arm Limited
アリババ or Alibaba	Alibaba Group Holding Limited
WeWork	WeWork Inc.

# 財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK、アーム、SVF1、SVF2、ブライツスター、PayPay、フォートレス、SBIナジー等です

## SVF中心に投資事業が好調。財務コミットメントを順守しつつ、アセットの多様化が進む

<p><b>投資事業の好調</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>投資利益はSVF中心に3.8兆円を計上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- DoorDash、Opendoorが上場を実現（当第3四半期）</li> <li>- 連結純利益※2は3.1兆円に</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>保有資産の状況</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>保有株式価値は26.9兆円。アセットの多様化が進む</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Alibaba：株価下落も保有株式価値は13.1兆円（アセットファイナンス除く）</li> <li>- SVF価値増加、上場株式投資拡大がアセットの多様化に寄与</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>4.5兆円プログラム</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>4.5兆円プログラムに基づく資金化はQ2までに完了 同プログラムに基づく還元を継続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 株主還元：1.3兆円（4.5兆円プログラムに基づく2020年6月17日から2021年1月31日迄の取得額）</li> <li>- 負債返済：国内社債の買入れ1,676億円とシニアローン3,000億円の期限前返済</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>LTV</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>引き続き十分な財務バッファを確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- LTV：14.9%</li> <li>- 手元流動性：2.0兆円 ※3</li> </ul> </li> </ul>

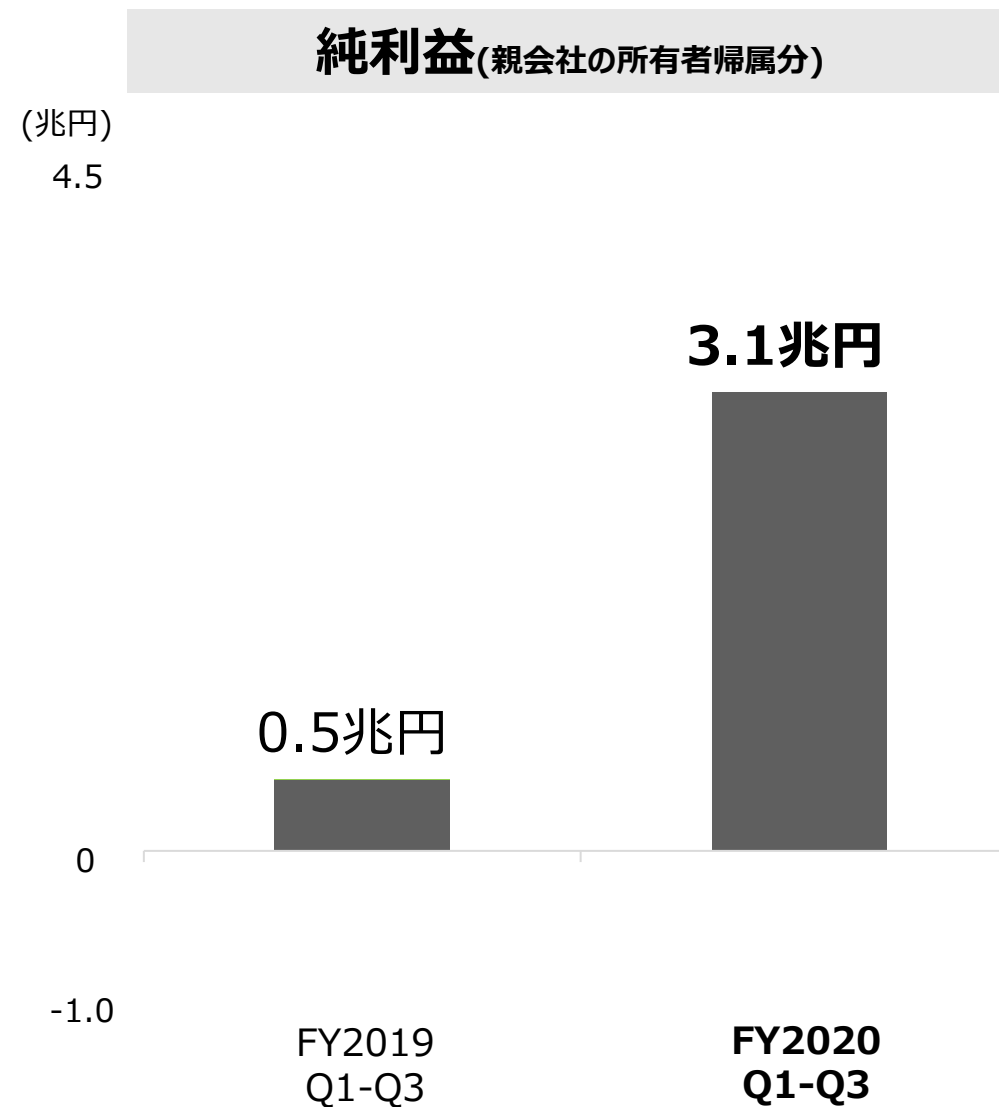
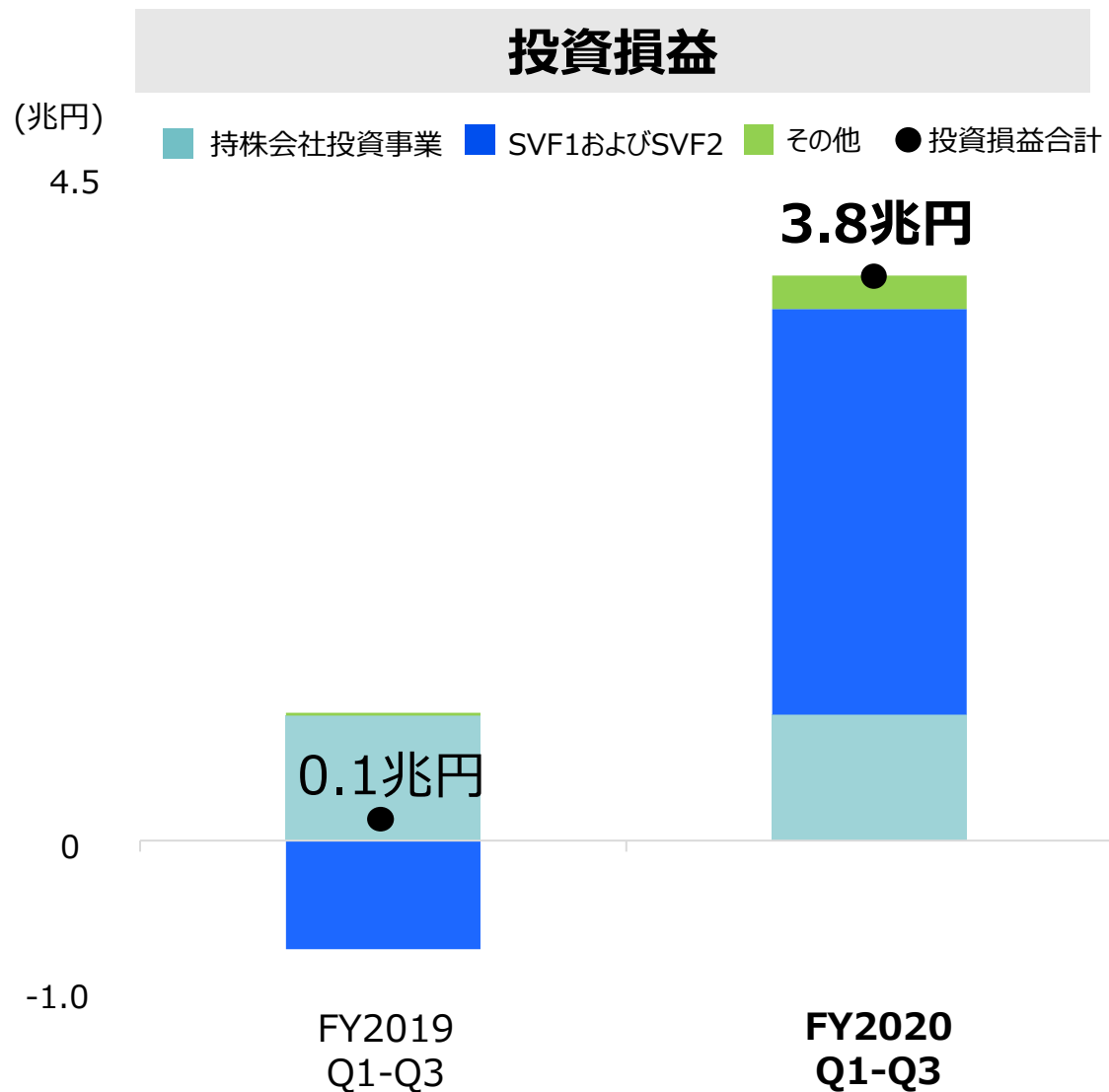
※1 別途記載が有る場合を除き、2020年12月31日現在

※2 親会社の所有者に帰属する純利益

※3 現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

- **投資事業の好調**
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

## 連結純利益3.1兆円: SVF1およびSVF2からの投資利益が大幅に増加



## DoorDash、OpendoorおよびSeerの上場につき、SBIAがスポンサーを務めるSPAC※1が上場

### 新規上場

#### SVF1



IPO  
(2020年12月9日)



SPACとの合併  
による上場  
(2020年12月21日)

#### SVF2



IPO  
(2020年12月4日)

#### SPACを活用した投資



IPO  
(2021年1月8日)

NASDAQ:SVFAU

### 売却

#### SVF1



一部  
(2020年10月7日)



全株式  
(2020年10月28日)



一部  
(2020年11月2日)



一部  
(2020年11月20日)



一部  
(2021年1月7日)

### 新規投資

#### SVF2



新規投資  
(2020年12月)  
IPO 2020年12月4日  
NASDAQ:SEER

2020年10月~12月までの3カ月間において、合計13銘柄へ新規投資を実行

※ 投資の売却又はIPOに関する情報への言及は、SVF1およびSVF2の過去及び現在の投資対象のうち上場に係る情報の提供のみを目的としており、SVF1およびSVF2の投資対象の全てを網羅するものではありません。SVF1およびSVF2の特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはなりません。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBIAが、同社の投資に係る目的、方針及び戦略を実行又は達成するという保証はありません。本資料に記載される計画の実現は、投資家の同意又は監督官庁の承認等の不確実性とリスクを含み、ここに記載の全て又は一部の条件で実現することを保証するものではありません

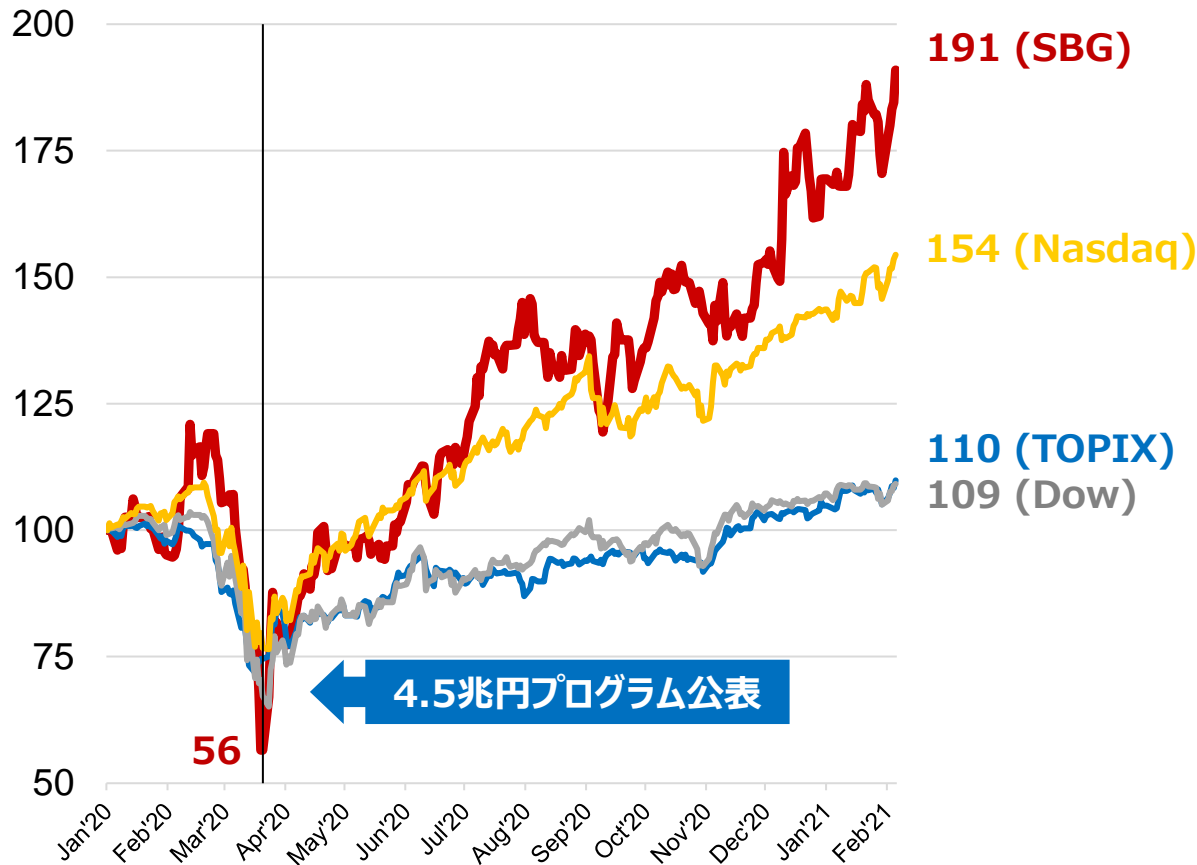
※1 特別買収目的会社(Special Purpose Acquisition Company)の略称  
※2 ターゲット企業との合併完了時にはSVF2からの出資を予定



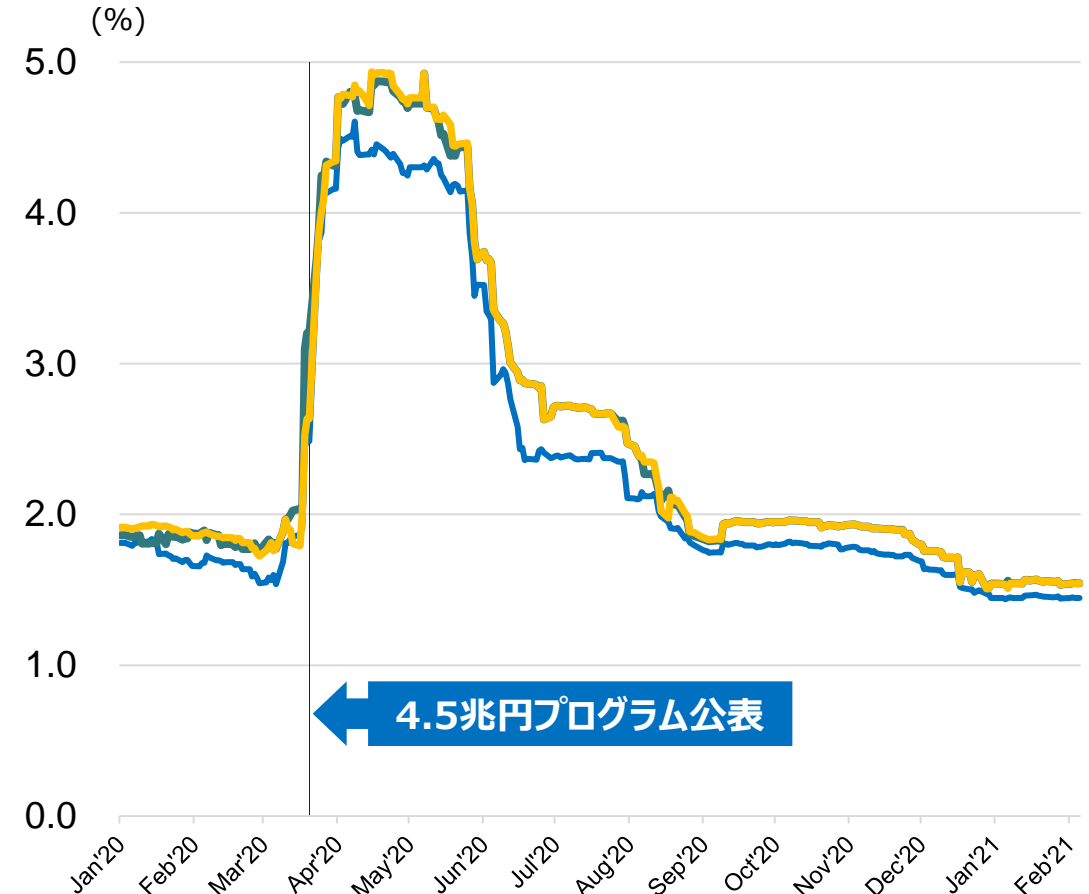
## 株価・国内債利回りは引き続き好調

### SBG 株価※1 (年初来)

2/5時点



### SBG 国内シニア債利回り※2 (年初来)



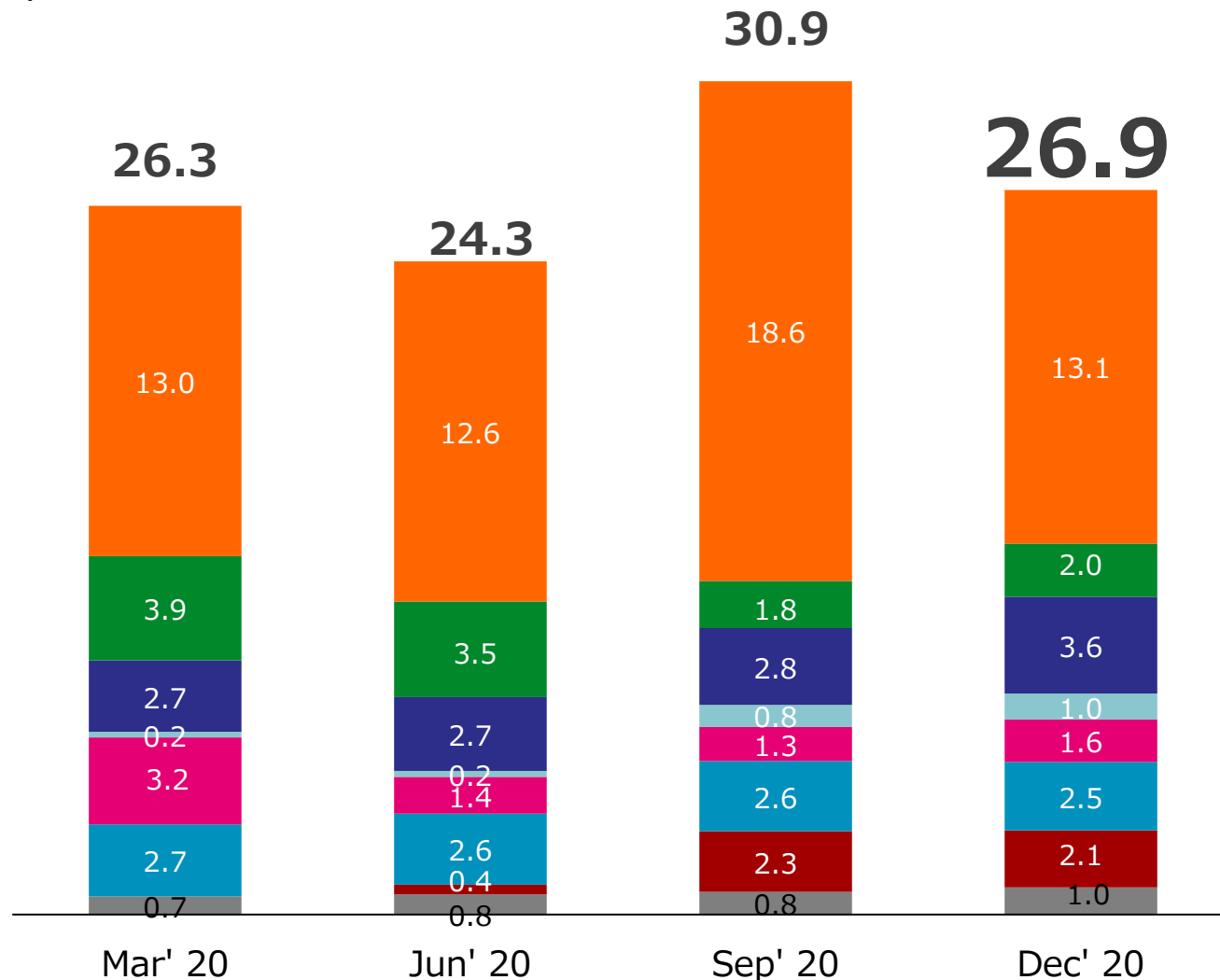
※1 2020年1月1日を100として指数化。2021年2月5日時点  
 ※2 第55、56、57回社債の流通利回り。BloombergによりSBG作成。2021年2月5日時点

- 投資事業の好調
- **保有資産の状況**
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

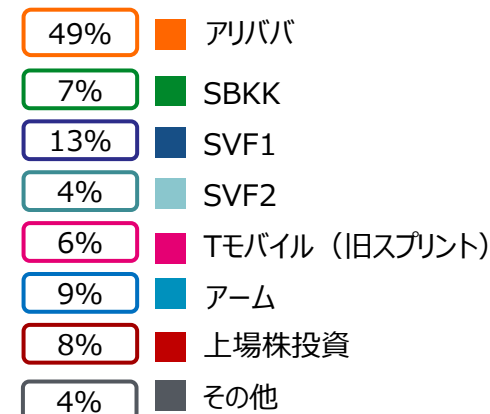
## 保有株式価値は26.9兆円。高水準を維持

アセットファイナンス除く

(兆円)



### 構成比



※ 各四半期末時点

- アリババ：SBGの保有株式数に同社株式（米国預託証券）の株価を乗じ算出。2020年12月31日まで  
に実行された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約・カー契約・コールスプレッド）の満期決済金額  
（同社株価で算出）の合計額およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残  
高相当額を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- Tモバイル（旧スプリント）：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象と  
なる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の  
公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券（Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities）を発行する信  
託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加  
算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ロー  
ンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入  
総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠（\$2.08bn）を控除した金額を  
ノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。）
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- 上場株投資：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分等にSB Northstarが2020年10月に実行  
したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の  
公正価値に基づいて算出

## Alibaba株価推移（上場来）



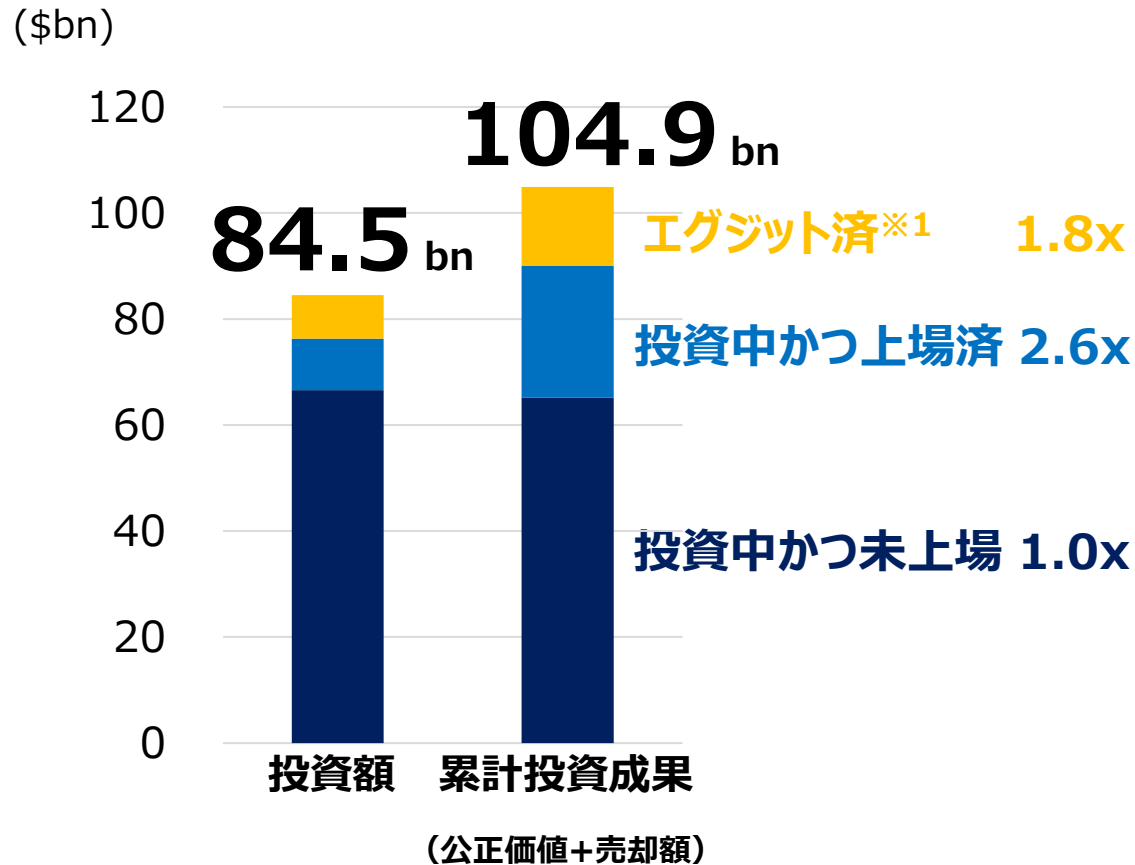
足許株価の調整はあったものの、  
上場来の株価上昇率は年率24%

※1 2021年2月5日の終値および、2014年9月19日のNYSE上場時の売出価格\$68.0を基に算出

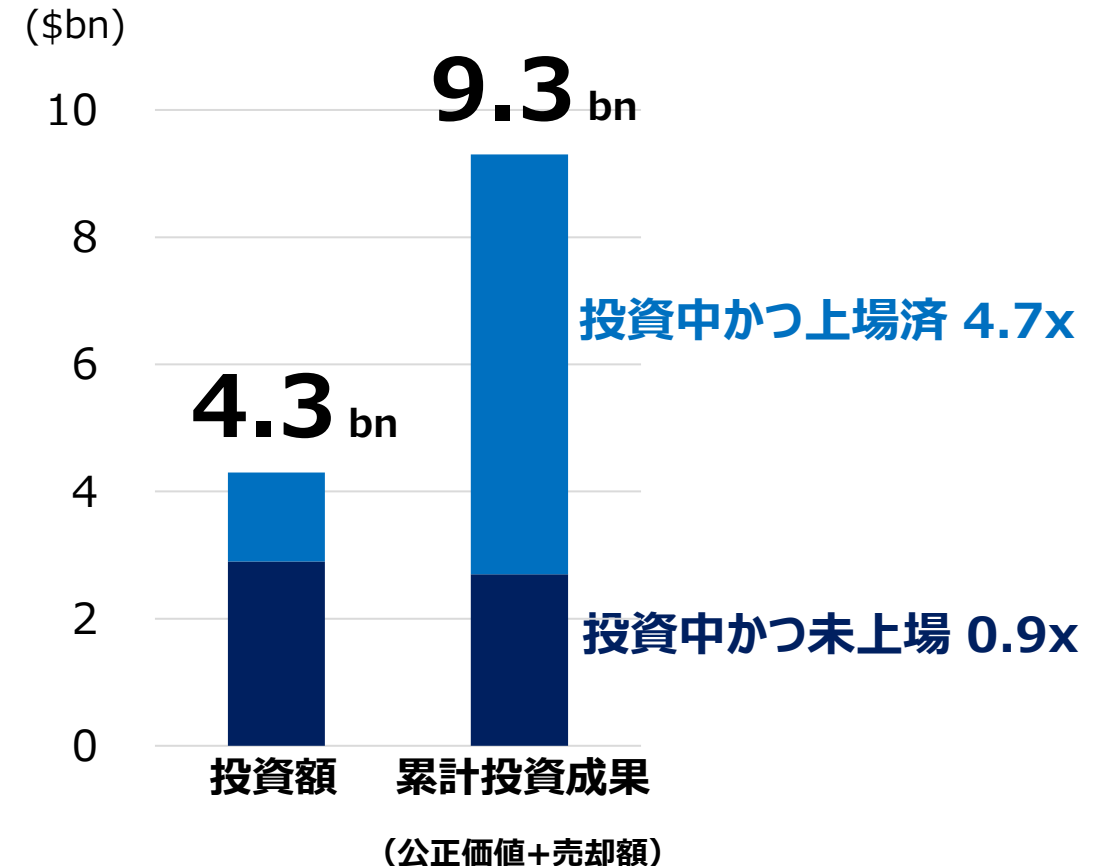
# SVF1&2：累計投資成果（SBG連結ベース）

コロナ禍でのオンライン需要の増加や、投資先のIPO等により、投資先の価値が増大

## SVF1



## SVF2



※ 1ドル=103.50円(2020年12月31日時点)

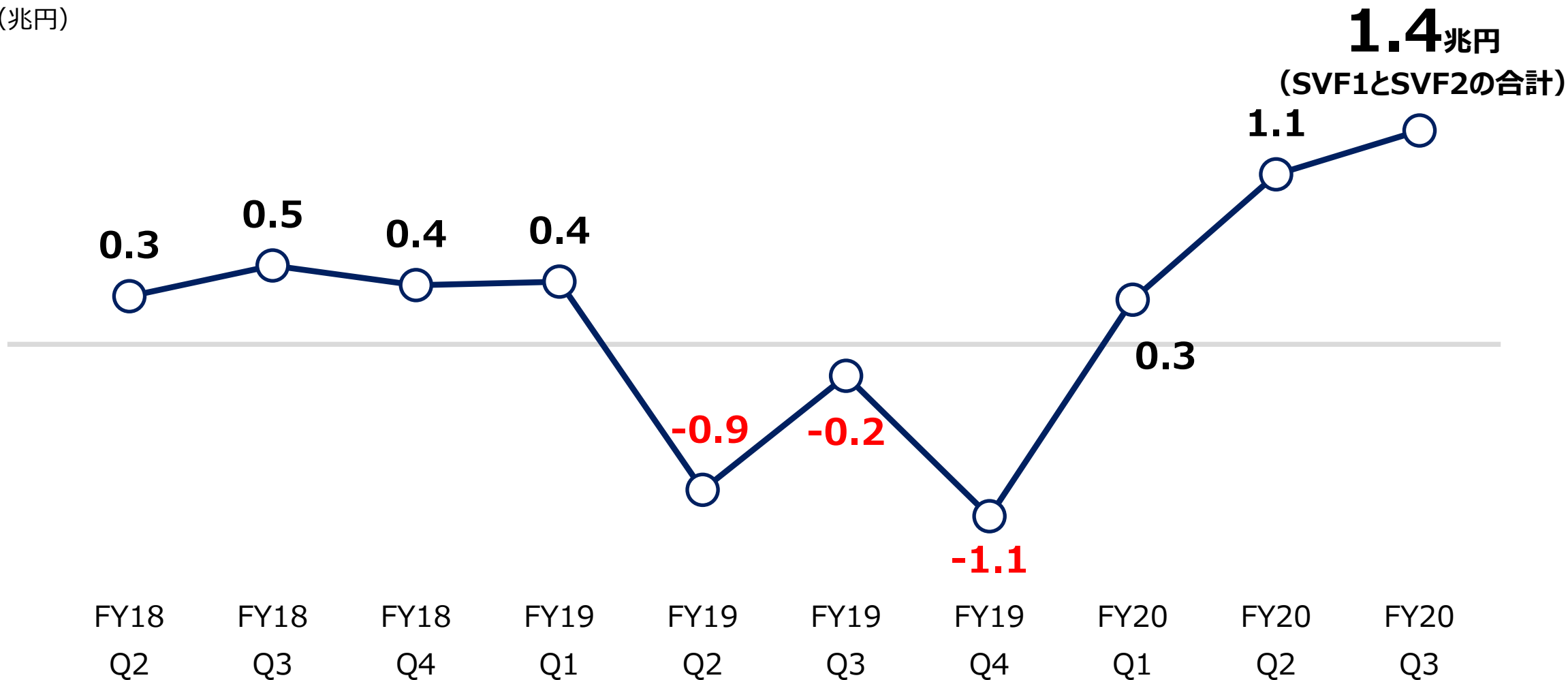
※ 当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めていない

※ 外部投資家持分および税金等の控除前

※1 SVF1のエグジット済には、既決済済のデリバティブ原価及び損益を含む

## FY20Q3で1.4兆円の投資利益

(兆円)



※1 SVF 1等SBIAの運営するファンド事業。デリバティブ関連損益を含む

# SBGのポートフォリオの強み

## 流動性の高い有力テクノロジー企業に分散投資

**上場株投資**

Amazon	Alphabet	Facebook
Salesforce	PayPal	Microsoft
NVIDIA	Netflix	TSMC

等

- アーム 半導体
- SBKK 通信
- Tモバイル 通信
- その他

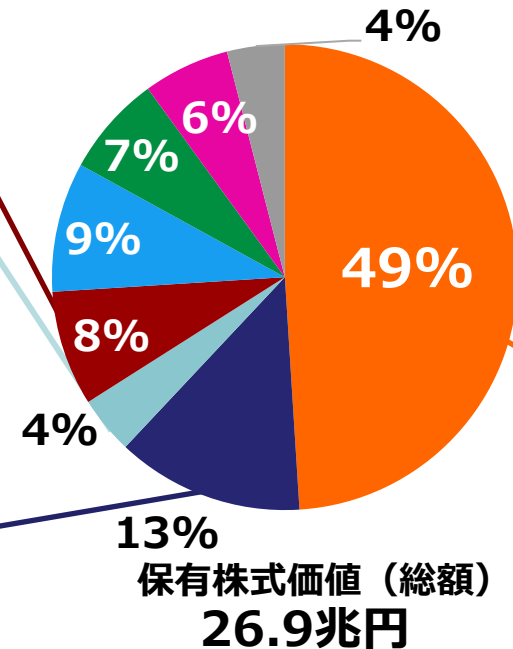
**保有株式上場割合**  
(アセットファイナンス控除後)

**70%** ※2

(89% SVF1及びSVF2の上場投資先及びARM株式を含む場合※3)

**SVF1** ※1

交通	ロジスティクス	コンシューマー
Uber	DOORDASH	coupang
フロンティアテック	プロップテック	ヘルステック
zymergen	COMPASS	ROIVANT SCIENCES



**アリババ**

フィンテック	BtoC EC
蚂蚁金服	TMALL
ITインフラ	BtoB EC
Alibaba Cloud	Alibaba.com
デジタルマーケティング	ヘルスケア
alimama	AliHealth 阿里健康

※1 ここに掲載されたSVF1による投資先企業は、例示のみを目的としており、SBIAによる投資先企業が分散されていることを示すために選択され、SVF1による全ての投資先企業であることを意図しません。ここに含まれた投資先企業に言及していることは、いずれが特定の投資対象又は証券への推奨として解釈してはなりません。将来行われる投資が、ここに掲載された投資先企業の質、パフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではありません。SVF1による投資先企業の完全なリストについては、[visionfund.com/portfolio](http://visionfund.com/portfolio)をご参照ください。SBIAはSoftBank Groupの登録アドバイザーであり、独立した関連会社であり、SoftBank Groupとは異なる手順に従い、異なる運用をしています

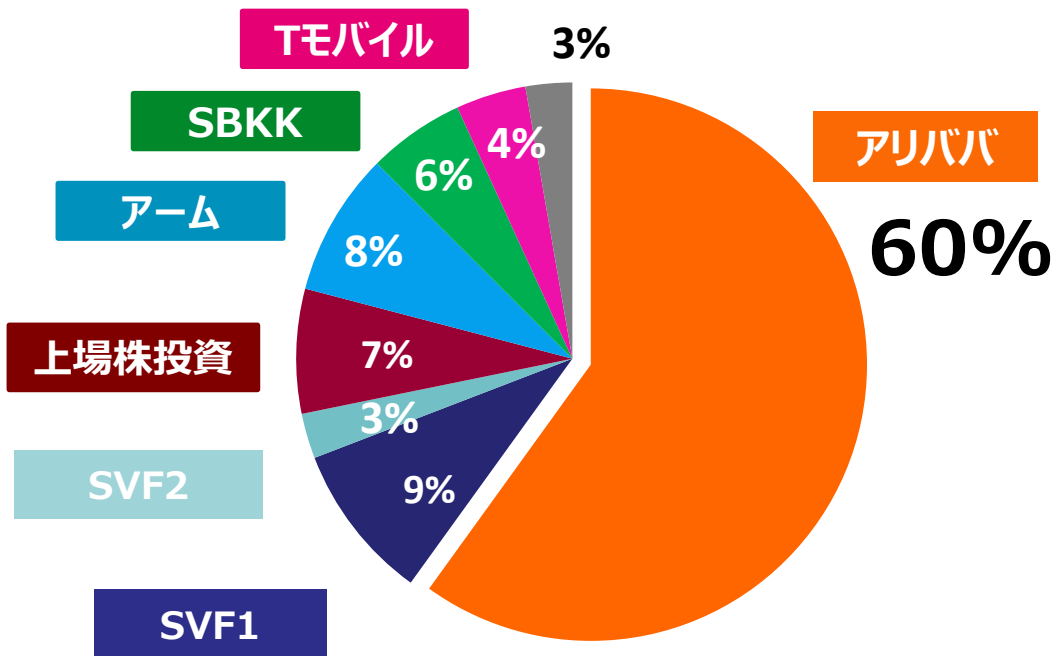
※2 保有株式価値 (総額) に占める、上場株式の割合。アリババ、SBKK、Tモバイル、上場株投資、その他の内、SBGに帰属する公正価値を上場株式としてみなす

※3 上記注釈2で述べた上場株式に加えて、SVF1およびSVF2の上場株式のみなし清算価値(2020年12月末時点の各投資先の保有価値で全て売却すると仮定)におけるSBG持分を含む。Arm株の売却先であるNVIDIAが上場しているため、本資料との関係ではFY20のみ上場株とみなす。これはその他の開示における取り扱いと異なる可能性がありますのでご注意ください。SVF1およびSVF2は、SBIAによって運営されています。SBIAはSoftBank Groupの登録アドバイザーであり、独立した関連会社であり、SoftBank Groupとは異なる手順に従い、異なる運用をしています

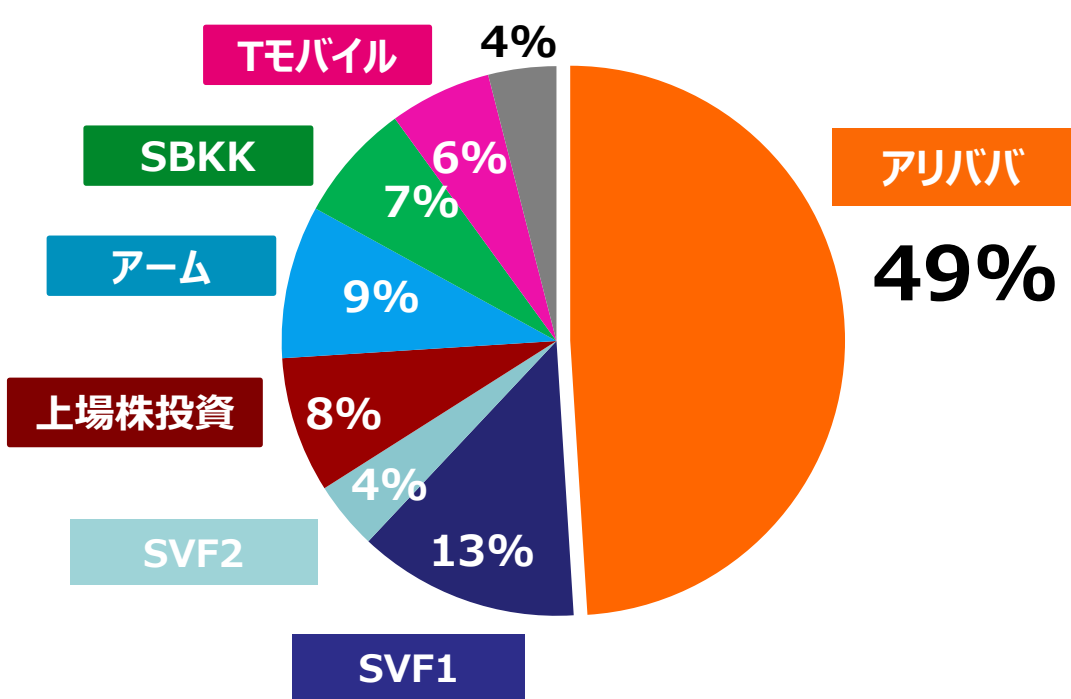
## アリババの比率が減少し、資産の多様化が進む

アセットファイナンス除く

2020年9月30日



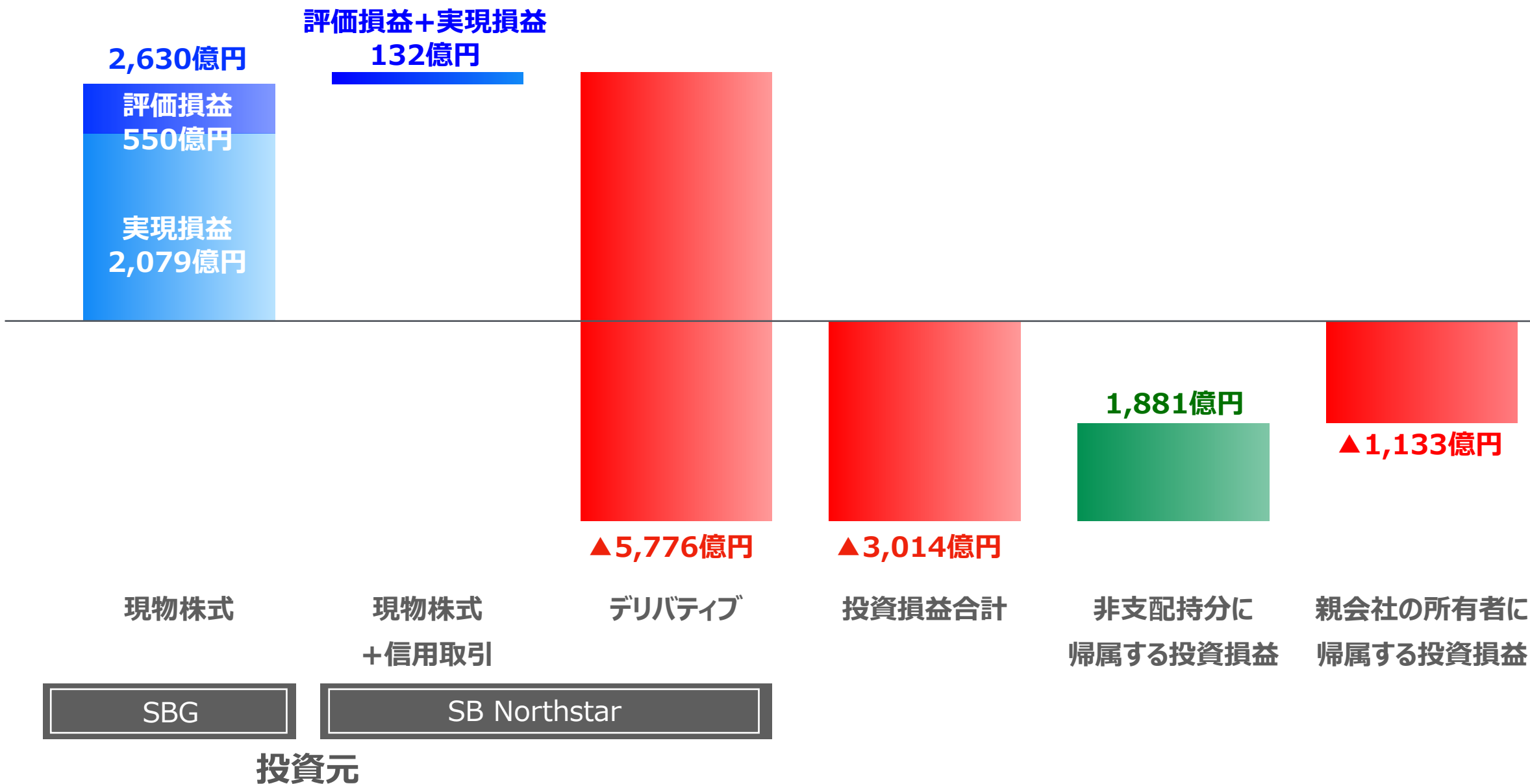
2020年12月31日



※ 保有株式価値の内訳についての注記は、12ページを参照



# 上場株式等への投資：当第3四半期累計期間の投資損益



※ 投資損益には、販売費及び一般管理費や税金費用などの影響を含まない

# 上場株式等への投資：現物株式（2020年12月末現在）

(百万米ドル)

公正価値

AbCellera Biologics	272
Adobe	10
Alphabet Class C	1,375
Amazon.com	7,386
Facebook	3,279
Microsoft	1,105
Netflix	582
Pacific Biosciences of California	238
PayPal Holdings	1,438
salesforce.com	677
TSMC ADR	1,302
4D Molecular Therapeutics	30
その他	4,213
NVIDIA	137
<b>合計</b>	<b>22,045</b>

※ ソフトバンクグループが保有するNVIDIA Corporation株式も上表に含めています

**\$1.4bn** (純額)

\$1.68bn

▲\$0.24bn

上場株式に係る  
買建コールオプション

上場株式に係る  
売建コールオプション

**\$13.8bn** (純額)

\$44.32bn

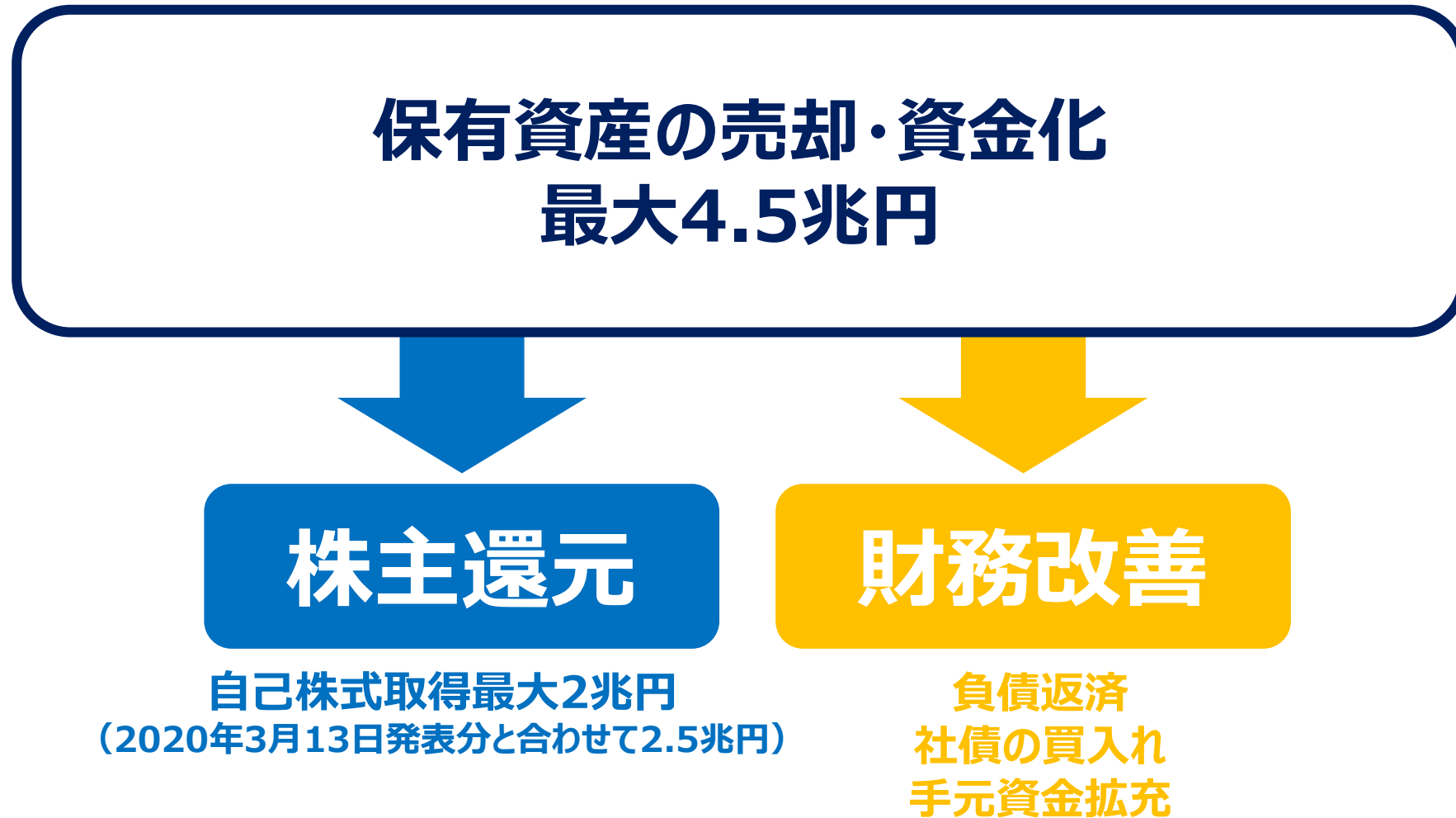
▲\$30.55bn

公正価値

想定元本

- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- **4.5兆円プログラム**
- 財務の状況
- 財務戦略
- ESGの推進

## 資産資金化により、株主および債権者へ大規模還元



# 資産の資金化 (4.5兆円プログラム)

4.5兆円の資金化は2020年9月までに完了  
わずか6か月で5.6兆円の資金化を実施

アリババ	4-8月 先渡契約等 \$15.4bn	\$15.4bn
SBKK	5月 ブロックトレード 0.3兆円 <sup>※1</sup> 9月 売出し 1.2兆円 <sup>※1</sup>	\$14.4bn
Tモバイル	6-7月 公募売上等 \$18.1bn 7月 マージンローン \$2.3bn <sup>※2</sup> 8月 ライツオフアリング \$2.0bn	\$22.4bn

**総額 \$52.2bn (5.6兆円<sup>※1</sup>)**

※1 2020年6月末日までに完了した取引は1ドル=107.74円換算、同9月末日までに完了した取引は1ドル=105.80円換算

※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースの資産ファイナンスによる借入額としています。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています

## 市場環境に応じて順次実施予定

### 社債および借入金

国内社債の買入れ (7月) ※1	買入総額	1,676億円 (額面総額)
シニアローン期限前返済 (9月)	返済総額	3,000億円

### Alibabaマージンローン※2

SBG100%子会社※3による返済(7月)	返済額	\$9.4bn (1.0兆円※4)
-----------------------	-----	-------------------

※1 上記のほか、2020年6月に1,000億円、11月に500億円の国内社債を満期償還。当該償還資金は国内社債によってリファイナンス済み

※2 2020年10月にSB Northstarがアリババ株式を活用した60億ドルのマージンローンを実行

※3 スカイワークファイナンス合同会社

※4 1ドル=105.80円

## 一株当たりNAV※<sup>1</sup>を反映し、当社株価は他銘柄をアウトパフォーム

### 自己株式取得

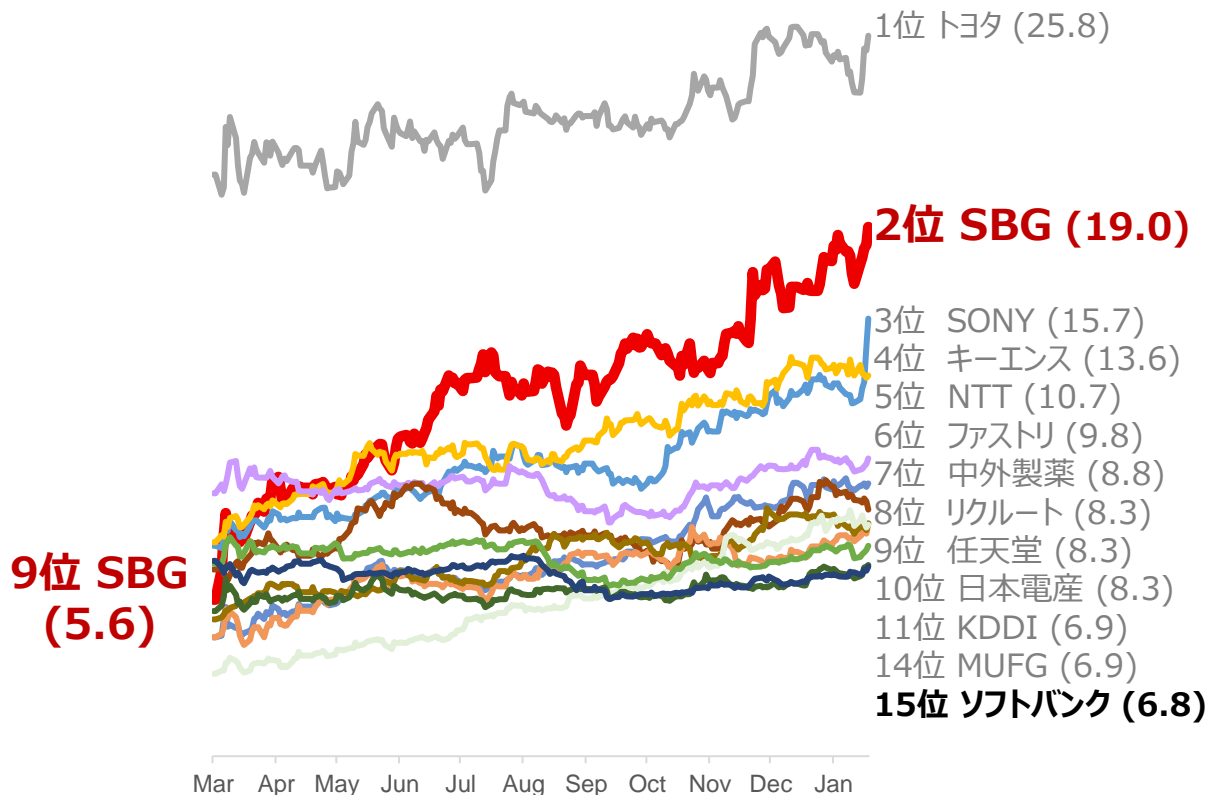
**取得枠** **2.5兆円**  
 (うち、4.5兆円プログラム) (2.0兆円)

**取得総額※<sup>2</sup>** **1.8兆円**  
 (うち、4.5兆円プログラム) (1.3兆円)

**取得期間** **～2021年7月30日迄**

### 株価パフォーマンス 国内時価総額上位銘柄 (2020/3/19 ※<sup>3</sup>～2021/2/5)

(時価総額、兆円)



※<sup>1</sup> 1株当たりNAV = (保有株式－純負債) ÷ 発行済株式総数 (自己株式を除く)

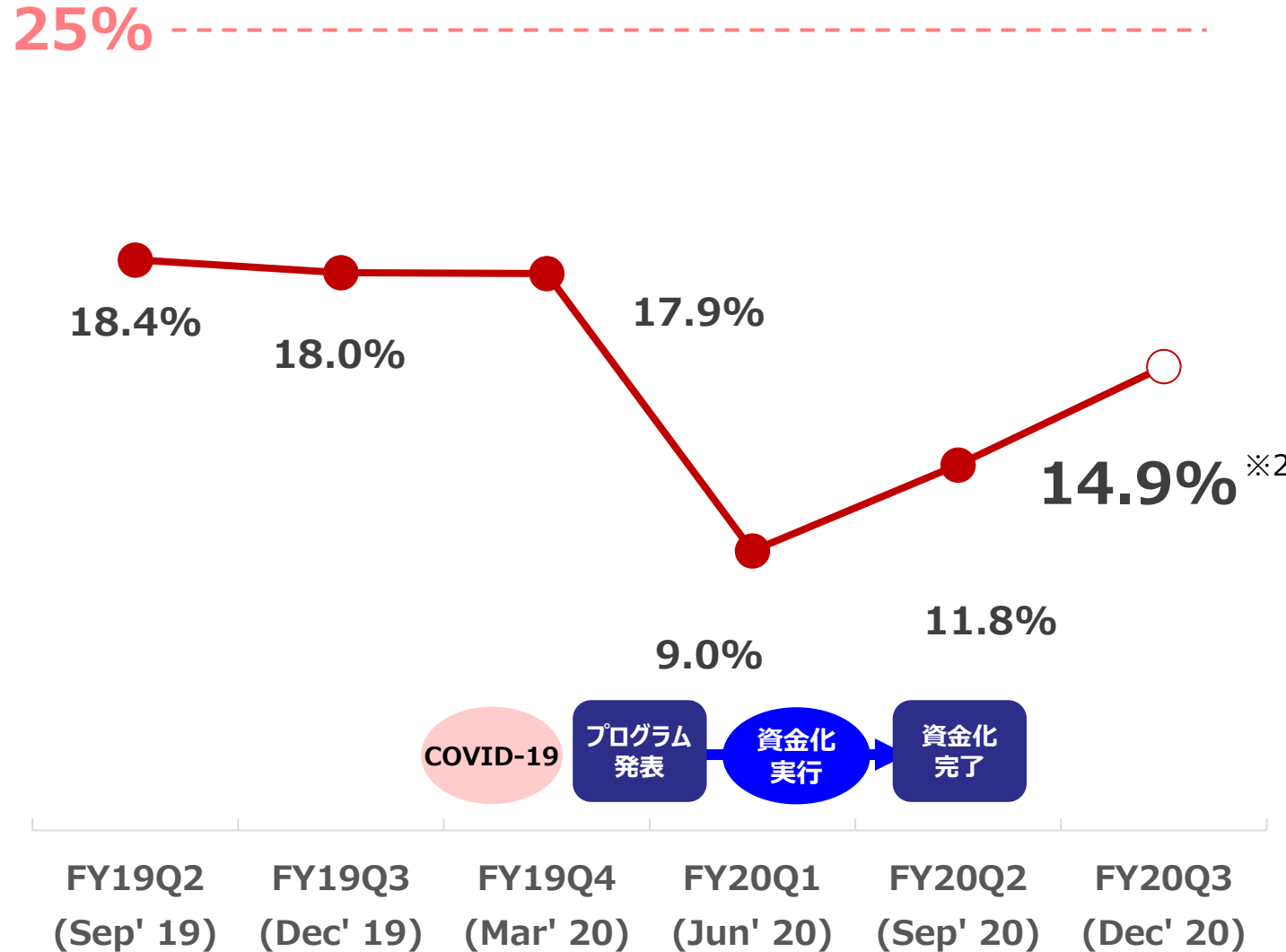
※<sup>2</sup> 2020年3月16日から2021年1月31日までの実績

※<sup>3</sup> 2020年3月19日：日経平均株価が年初来安値を記録



## LTVの推移 ※1

アセットファイナンス除く



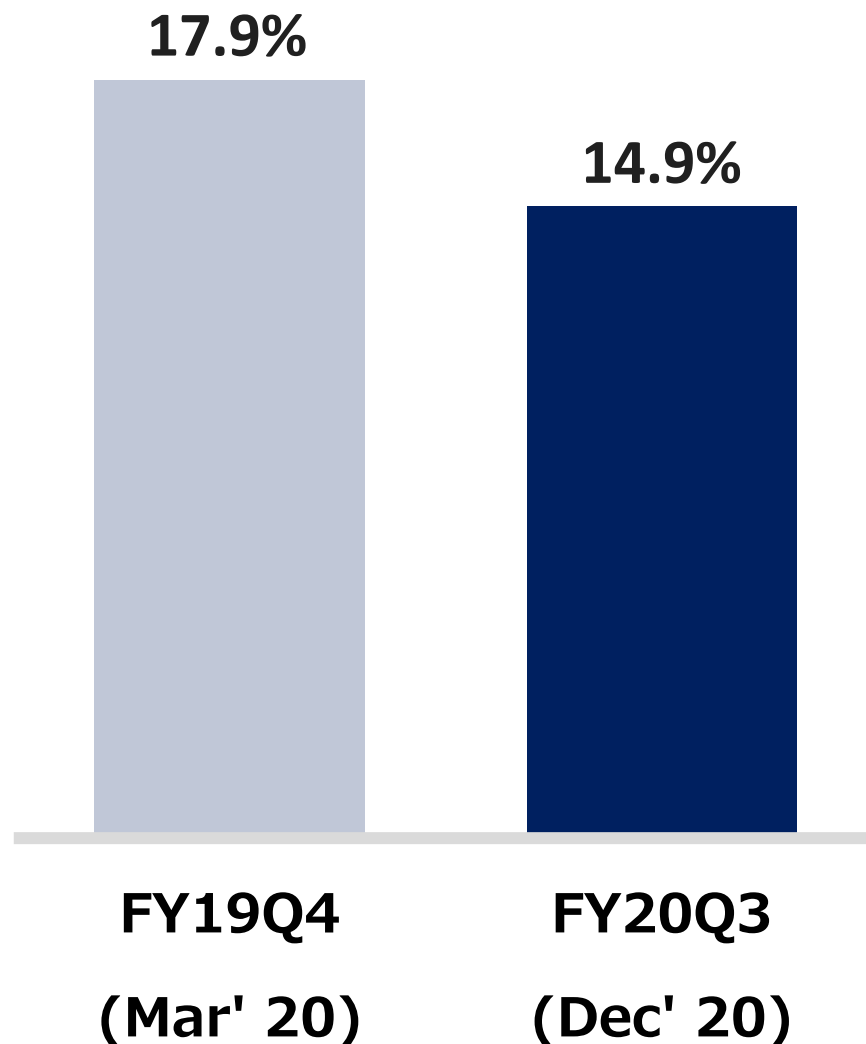
- 流動性の高い資産を活用した、迅速かつ大規模な資金化
- 市場環境に応じた機動的な財務運営を有言実行

※1 各四半期末時点の数値を記載

※2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- **財務の状況**
- 財務戦略
- ESGの推進

アセットファイナンス除く

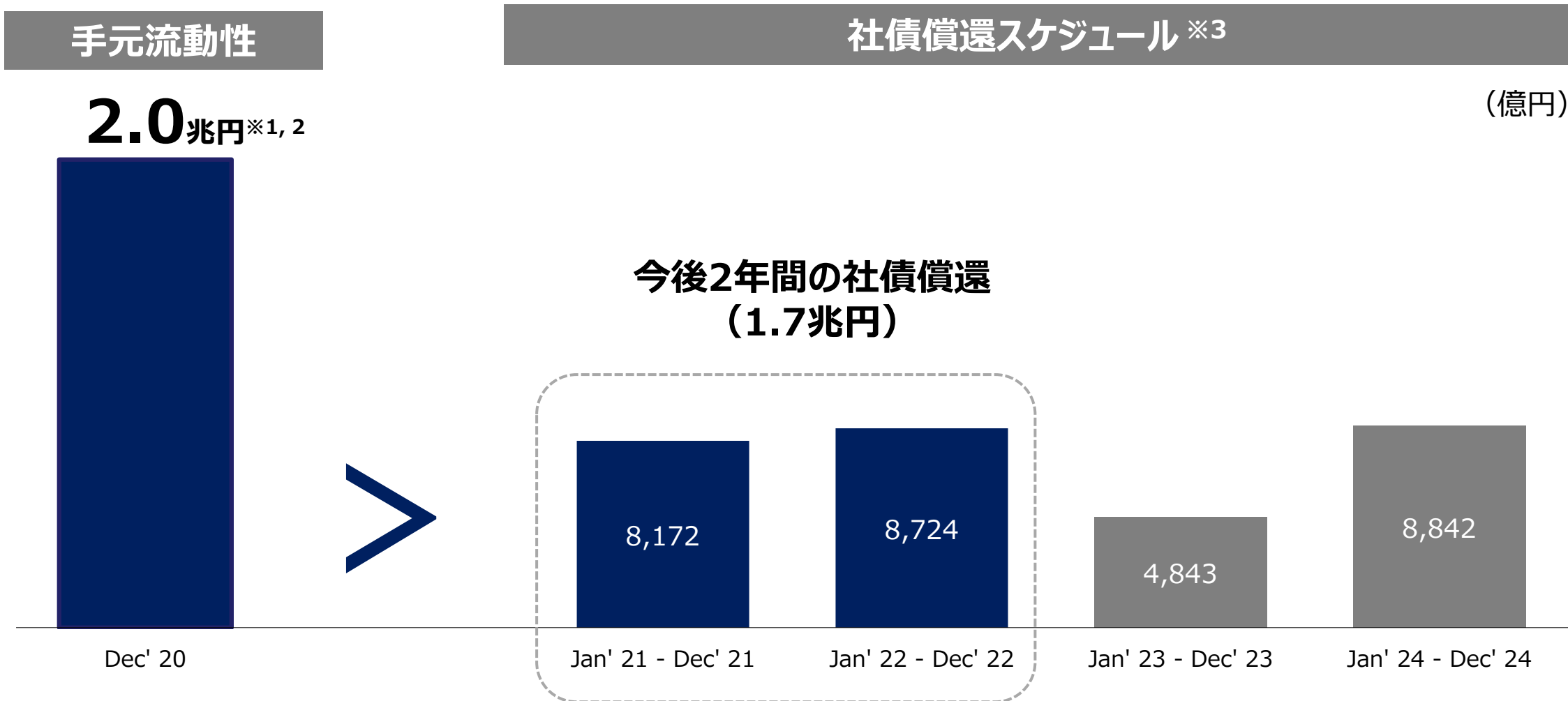


**4.5兆円プログラムの進捗により、更に大きな財務バッファを確保**

※ 各四半期末時点の数値を記載

※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」および「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」に記載

## 常に社債償還2年分を超える潤沢な手元流動性を維持



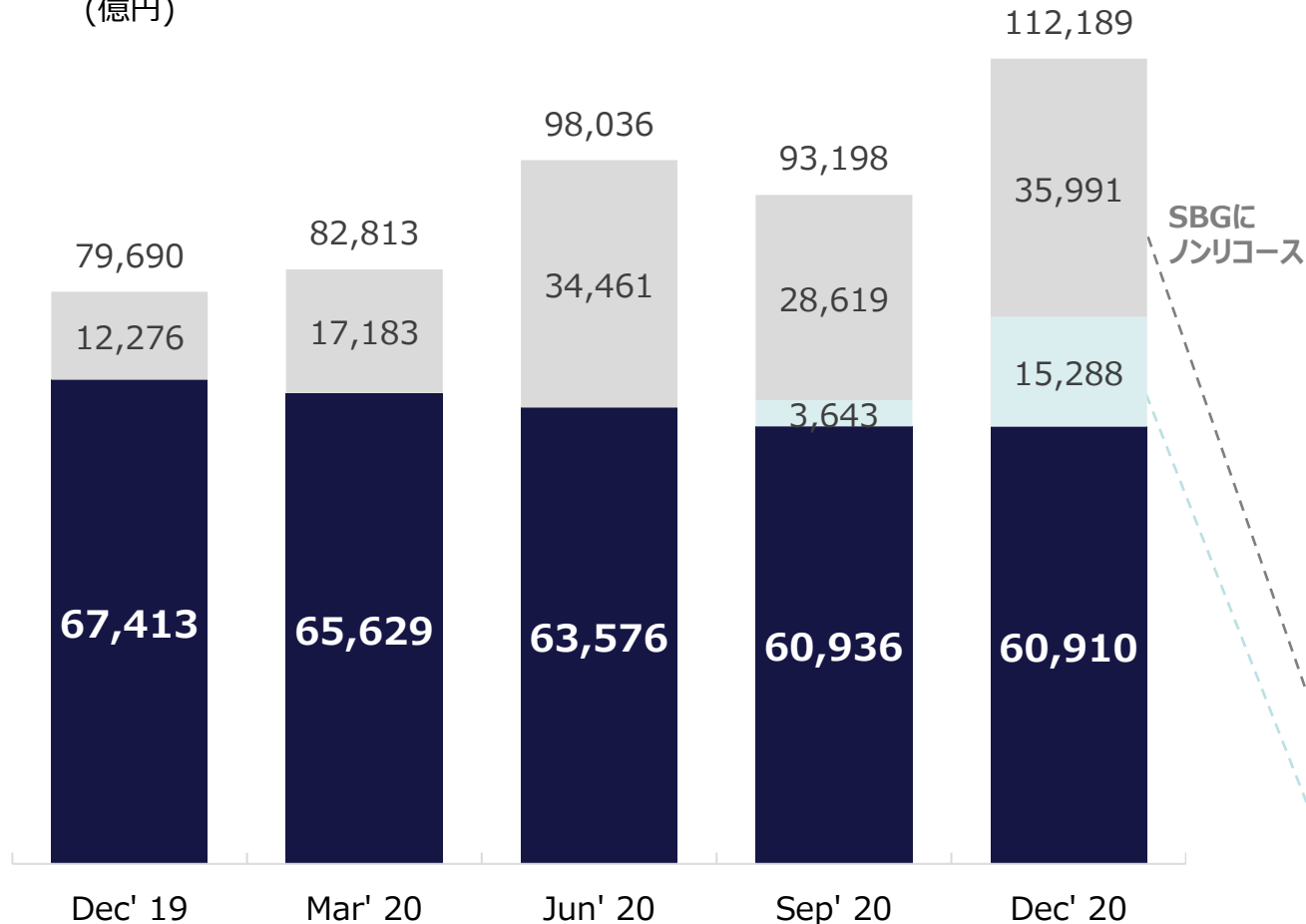
※1 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

※2 2020年12月31日時点のコミットメントラインの未使用枠はゼロ

※3 社債償還金額はバイバックにより取得した自己保有社債を除く

## ノンリコースを除いたSBG単体の有利子負債は横ばい

(億円)



2020年9月末からの主な変動要因	
SB Northstar のAlibabaマージンローン	(+6,188億円)
SB Northstar の短期借入金	(+5,457億円)
アリババ株式先渡契約の条件変更による会計上の株式先渡契約金融負債の増加	(+7,418億円)

### 2020年12月末 内訳

(億円)

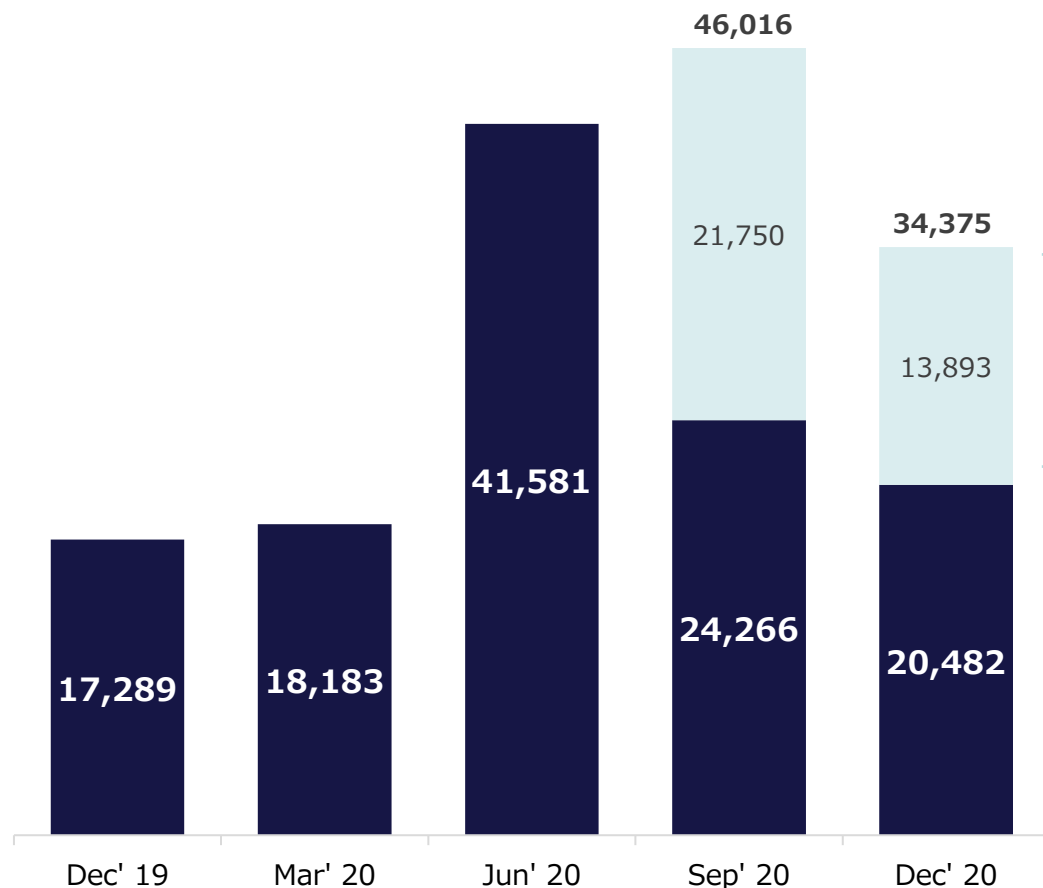
SBG 借入金	
銀行ローン	8,367
ハイブリッドローン	833
その他	7
小計	9,207
SBG 社債・CP	
国内シニア債	22,212
国内劣後債/ハイブリッド債	12,279
外債	12,857
CP	1,715
小計	49,063
SBG リース負債	
	136
子会社 有利子負債	
株式先渡契約金融負債	28,664
マージンローン (SBGにノンリコース※2)	7,327
(SBGにリコース※2)	2,153
SB Northstar	15,288
その他	351
小計	53,783
<b>合計</b>	<b>112,189</b>

※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

※2 Tモバイル株式を担保としたマージンローン(借入総額\$4.38bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した\$2.30bnをノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。尚、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています

## 株主還元と投資が進展しながら、潤沢な手元流動性を維持

(億円)



### SB Northstar 手元流動性 (現預金+売買目的有価証券)

… 担保差入有価証券<sup>※2</sup>が増加したことにより、手元流動性は大幅に減少

2020年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
SB Northstarからの返済 <sup>※1</sup> (+6,118億円)	自己株式取得 (-5,838億円)
	SVF2キャピタルコール (-1,666億円)
	SVF1キャピタルコール (-470億円)
	その他投資 (-1,079億円)

※ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(売買目的有価証券等)。SBG単体ベース

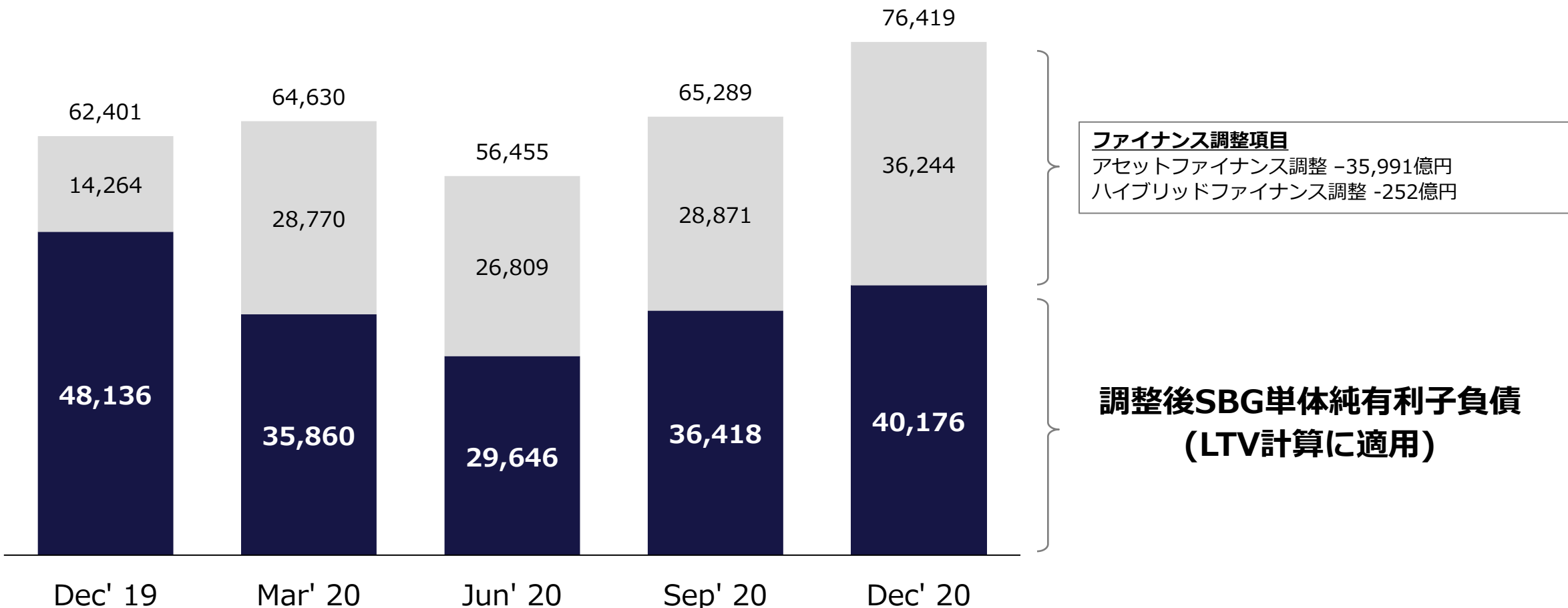
※1 SB NorthstarがAlibaba マージンローンにより借入れた資金によるSBGに対する返済

※2 担保付借入の担保として差し入れた有価証券のうち、担保受入者が売却または再担保に差し入れることのできる有価証券を「資産運用子会社からの投資」から区分し、要約四半期連結財政状態計算書上、「その他の金融資産 (流動)」に含めて表示

## 4.5兆円プログラムに基づく株主還元や投資により増加

SB Northstar除く

(億円)



SB Northstar除く

※ 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」に記載

## 国内機関投資家向けでは過去最大。今後、リテール向けハイブリッド債も検討

### 国内機関投資家向けハイブリッド債の発行金額

2016年	今回債
710億円※1	1,770億円

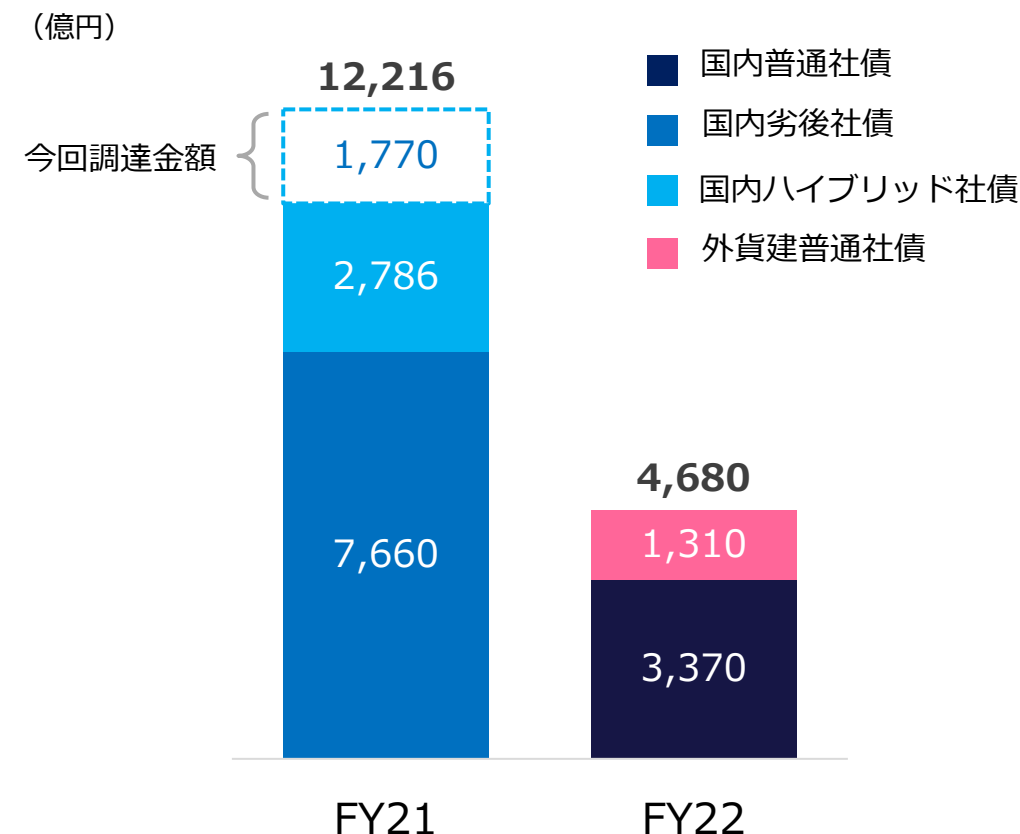
### その他条件

年限	35年ノンコール5年
利率	当初5年間：3.00% 5年後 +25bp、20年後 +5bp、 25年後 +70bpのステップアップ※2
取得格付	BBB (JCR)
格付上の資本性	50% (JCR/S&P)

※1 25NC5 (556億円) と27NC7 (154億円) の合計

※2 5年後以降は変動金利 (1年日本国債金利 + 310.5bp + ステップアップ)

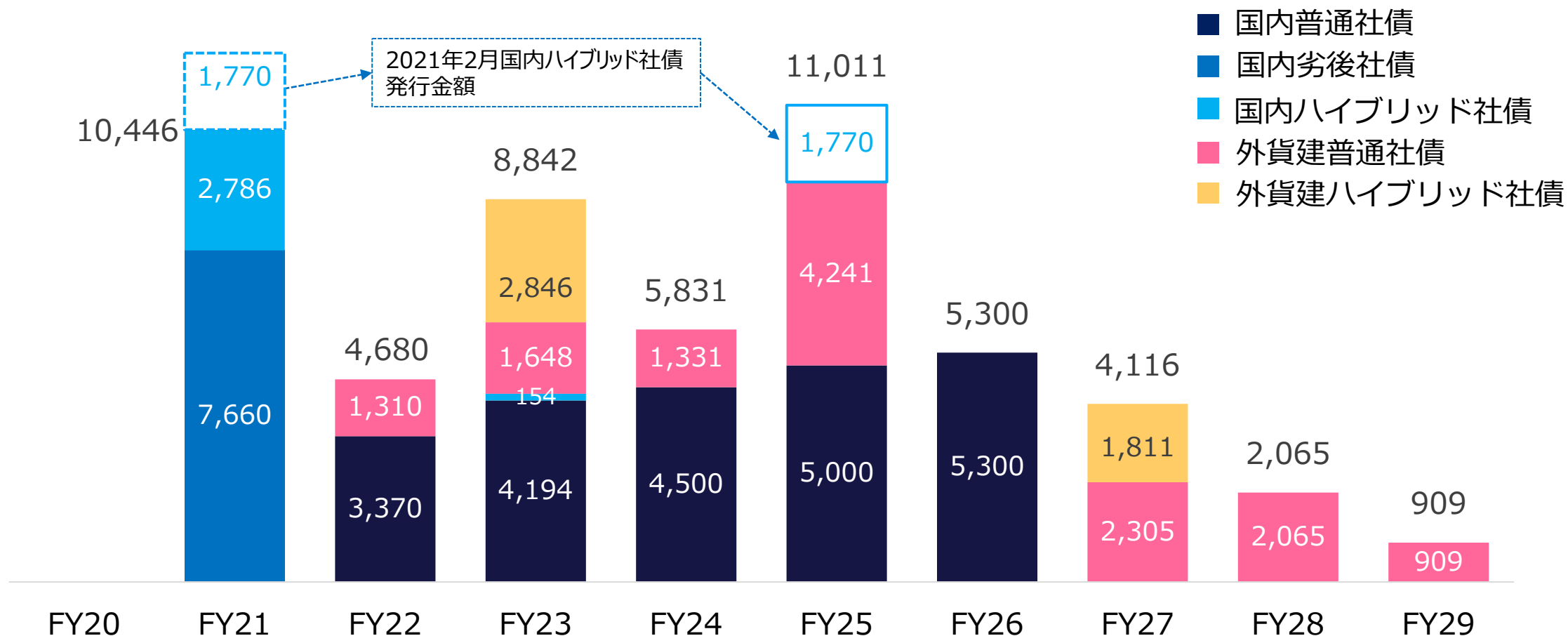
### 社債償還スケジュール





## リファイナンスを中心に多様な返済オプションを検討

(億円)



※ 2020年12月31日時点発行残高。ただし、2021年2月に発行した国内ハイブリッド社債の金額を調整  
 ※ ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース  
 ※ 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=103.50円にて換算  
 ※ バイバックにより取得した自己保有社債を除く

- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- **財務戦略**
- ESGの推進

## あらゆる変化に適応できる柔軟な財務運営

財務方針の堅持

市場環境に応じた  
機動的な財務運営

**1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)**

**2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持**

**3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保**

投資先の財務は  
独立採算

救済投資は  
行わない

## 4.5兆円プログラムの実施による株主還元と財務改善の両立

新規投資と回収のバランスを適切にコントロール  
(投資機会の到来に備える)

市場との対話を重視した財務運営

- 投資事業の好調
- 保有資産の状況
- 4.5兆円プログラム
- 財務の状況
- 財務戦略
- **ESGの推進**

(FY20Q2 投資家向け説明会資料より)

## 1. ESGに対する本質的な取組みを継続

- 変化する社会課題に率先して取り組み、社会全体の潮流につなげていく
- SBGとして取り組むべき課題を継続的に議論し、実践的に取り組んでいる

## 2. 情報発信をさらに強化

- Chief Sustainability Officer任命、サステナビリティ委員会設置を機に、今後ESGの取組みの発信をより強化



## 気候変動への対応

- ・ 2011年より国内外で自然エネルギー普及のための土壌作りに貢献
- ・ 温室効果ガス削減に向けて積極的推進

### FY20 主なグループ会社の取組

アーム

2030年までの  
ネットゼロカーボンを  
コミット



ヤフー

「2023年度  
100%再エネチャレンジ」  
宣言



SBエナジー

新たに運転開始  
4ソーラーパーク



SB新型コロナウイルス検査センター株式会社設立

(’20年7月)

- ・ 高品質の唾液PCR検査を**無利益提供 (1回2,000円)**
- ・ **逼迫する公的検査を補完する民間PCR検査センター設立の先駆け**
- ・ **2021年2月3日より個人にも検査提供開始**

実績

(’21年1月末現在)

申込法人数(のべ)	約 <b>4,600</b> 法人・団体等
検査可能数	約 <b>13,000</b> 件/日 (日本全体の約10%*)
総検査数	約 <b>300,000</b> 件



\* 厚労省公開データより算出

目指す体制

(’21年9月末までに)

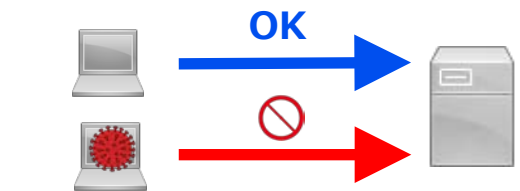
検査可能数	約 <b>20,000</b> 件/日
総検査数	約 <b>3,000,000</b> 件

- グループを取り巻くサイバー脅威に先端技術も活用し、強固に対応するとともに、情報セキュリティを競争力の源泉に
- 情報革命を通じて、デジタル社会の安全で健全な成長に情報セキュリティ分野からも貢献



投資会社として世界No.1のセキュリティ実現へ

- ✓ セキュリティ国際標準準拠 (NIST\*)
- ✓ 「ゼロトラスト」対応

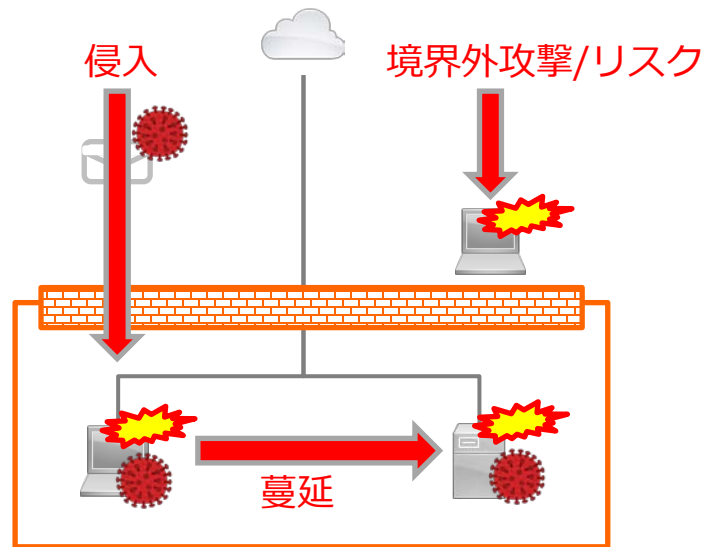


信頼できる場合にのみ、許可 (ゼロトラスト)

\*NIST:米国標準技術研究所

## 「ゼロトラスト」により、従来型ネットワーク境界防御が抱える課題、リスクに対応し、場所やネットワークを問わないセキュリティを実現

### 従来型ネットワーク境界防御

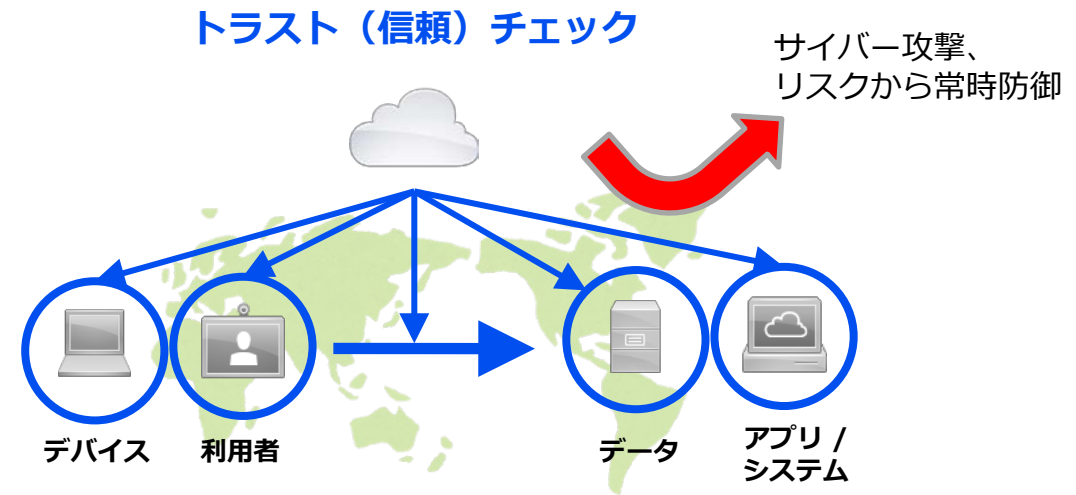


### フルトラスト（内部なら無条件に、許可）

- 境界内に侵入されてしまうと横展開で蔓延
- 壁対策に注力、デバイスなど対策手薄
- 境界外業務クラウド、データ管理に課題
- 境界外業務にリスク（テレワーク等）

課題・  
リスク

### 「ゼロトラスト」対応



### ゼロトラスト（信頼できる場合にのみ、許可）

- ネットワーク境界を撤廃、すべてインターネットに直接接続
- クラウドセキュリティにより、ネットワーク接続されたデバイス・利用者・データ・アプリ/システムを常に監視、リスク評価するとともに、セキュリティ対策を常に最新に維持
- 場所、ネットワークを問わない働き方を実現し、セキュリティも確保

## 取締役会で指名報酬委員会の機能強化を決議（2021年1月）

### 従前

取締役会への諮問機関として、  
取締役の選解任、報酬について  
審議し、取締役会に提言



### 改正後

取締役会への諮問機関として、  
取締役および「重要な役職員」  
の選解任、報酬について審議し、  
取締役会に提言

**審議対象者の拡充により、モニタリングの強化・充実を図る**

## 投資先のガバナンス・投資指針に関するポリシー

- 2020年1月：投資先のガバナンス・投資指針に関するポリシーを採択
  - SBGグループ各社が、投資先に対して新規または追加投資を行う際に、ガバナンスの基準として相手方に要求すべきものとして推奨されるガイドライン
- 2021年1月：本ポリシーの遵守状況の年次評価を取締役に報告
- 本ポリシーで推奨されているガバナンス基準全体について、一定割合の投資についてガバナンスが改善

### 適用対象

- ✓ 当社およびSVF1、SVF2の運用会社などを含む、非上場投資子会社からの投資

### 評価項目

- ＜投資先のガバナンスの妥当性・合理性＞
- ✓ 取締役会の構成
  - ✓ 創業者・経営陣の権利
  - ✓ 株主の権利
  - ✓ 利益相反の回避
- 等

## これまでの取り組みに関する情報開示を積極的に拡充中

- ・ CSR中心の情報から**ESGの国際基準にそった開示への対応を拡充中**
- ・ WEBサイト、サステナビリティレポート等に掲載

### FY20 主な外部評価の結果

#### 【SBG】

- ・ MSCI 日本株女性活躍指数：**初選定**（Q2）
- ・ CDP：FY19「D」➡FY20「**A-**」**獲得**（Q3）

#### 【SBKK】

- ・ FTSE Blossom Japan Index **初選定**（Q3）
- ・ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 **初選定**（Q3）
- ・ CDP「**A-**」**獲得**（Q3）
- ・ 日経「SDGs経営」調査2020 **星4.5獲得**（Q3）

2020 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom  
Japan



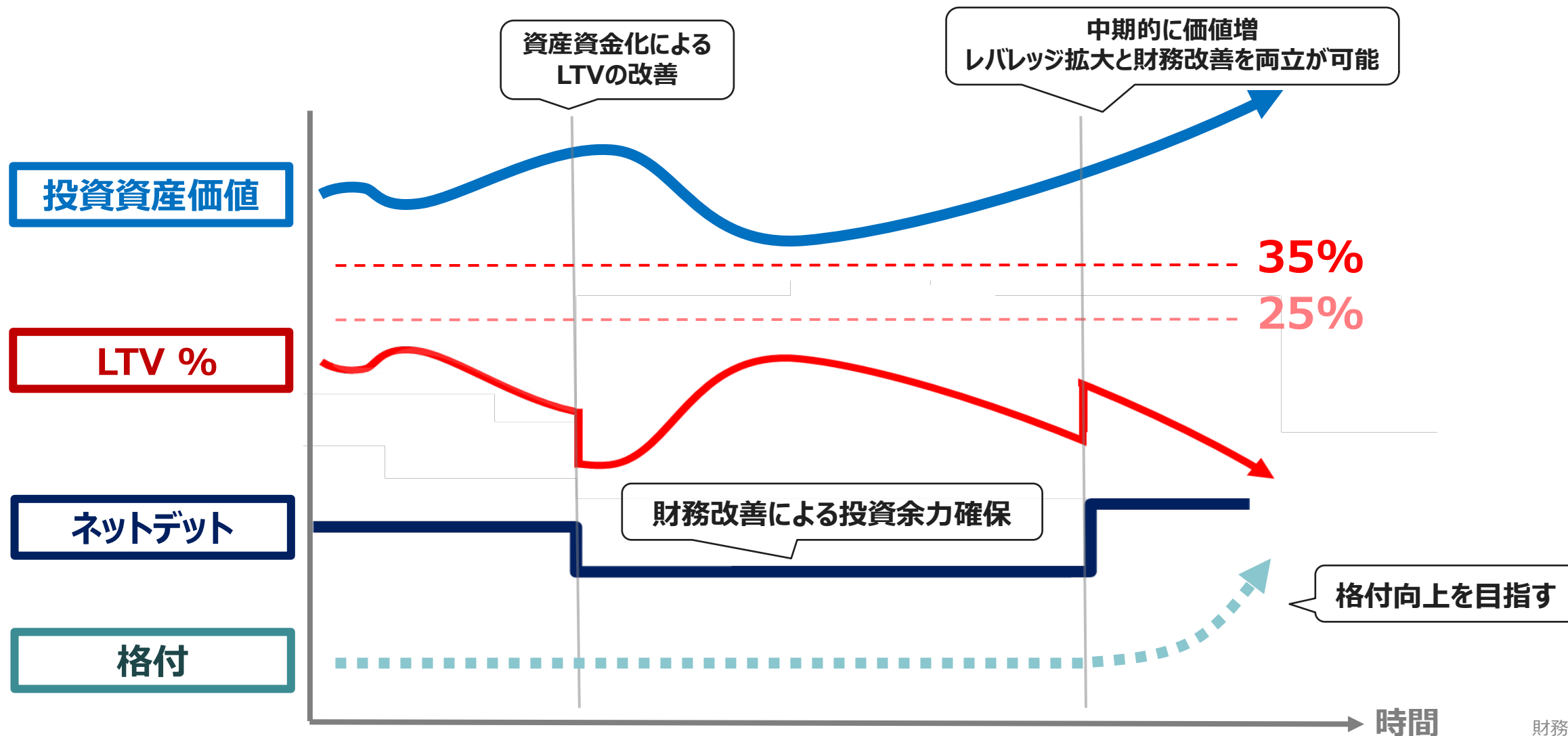
経営調査 2020 ★★★★★

※ ソフトバンクグループ株式会社およびソフトバンク株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるソフトバンクグループ株式会社またはソフトバンク株式会社の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

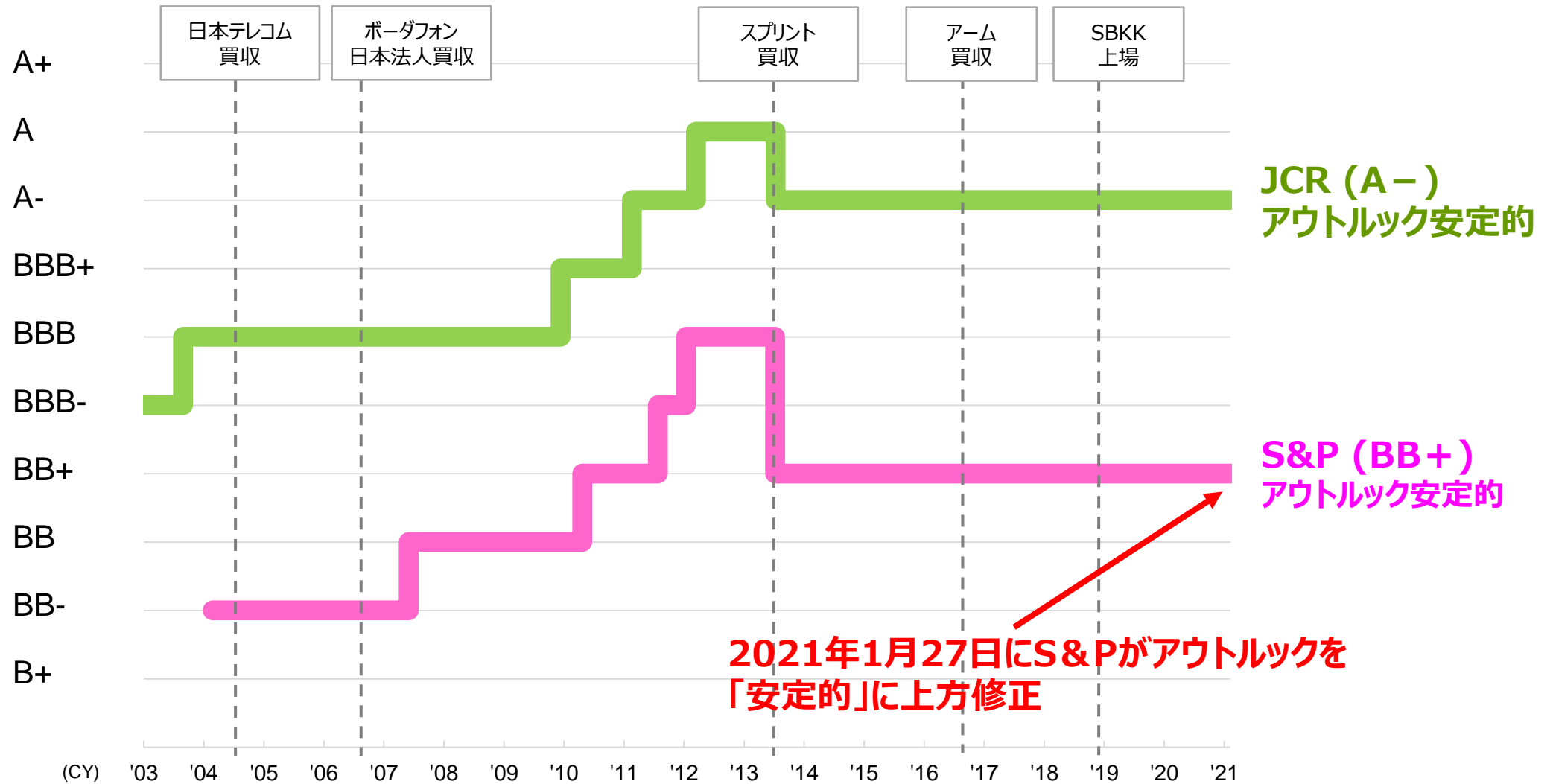
# Appendix



## コロナ禍のもと、資産資金化による保守的な財務運営を実施 財務安定性を確保し、今後の投資機会の到来に備える



## 投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



※ 2021年2月5日時点

(L) 調整後  
SBG単体 純有利子負債<sup>※1</sup>

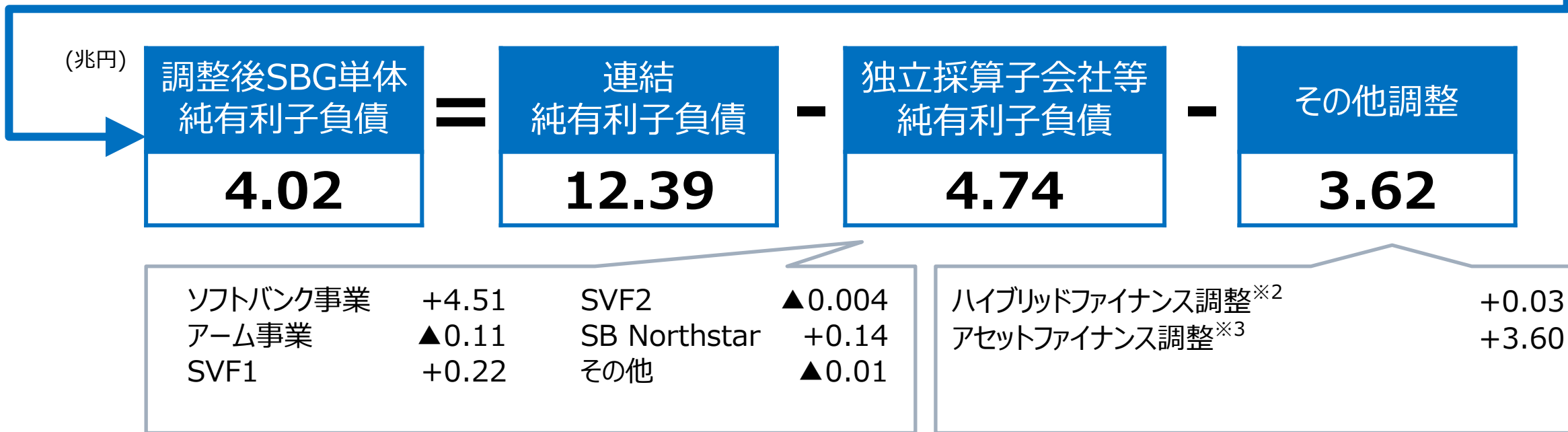
4.02兆円

=

14.9%

(V) SBG単体 保有株式価値

26.91兆円



※1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。ジャパンネット銀行の(銀行業の預金 - 手元流動性)は含まない

※2 2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。

2016年9月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除

※3 純有利子負債は以下の金額を考慮

a)2020年12月31日までに実行された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フロア契約、カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債(28,664億円)(なお、コールスプレッドに係るデリバティブ負債は有利子負債に含まれない)およびSBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額（4,984億円）の合計

b)Tモバイル株式を活用したマージンローンの負債残高相当額(4,497億円)のうちノンリコースのアセットファイナンスとしている金額(2,344億円)を純有利子負債から控除。(Tモバイル株式を担保としたマージンローン（借入総額4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該マージンローンの担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられています。)

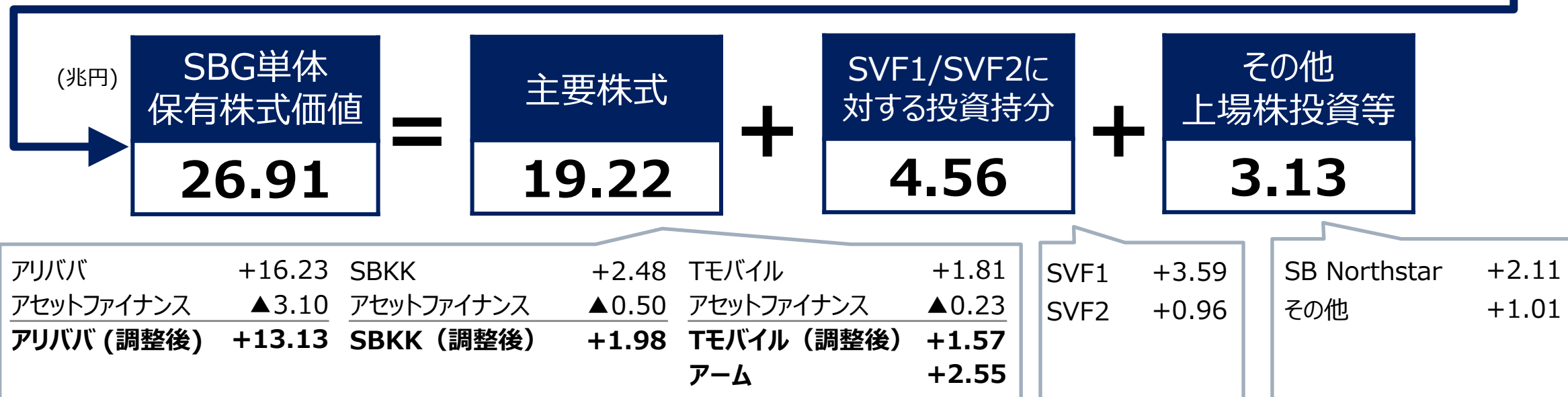
# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債 4.02兆円

(V) SBG単体 保有株式価値

26.91兆円

= 14.9%

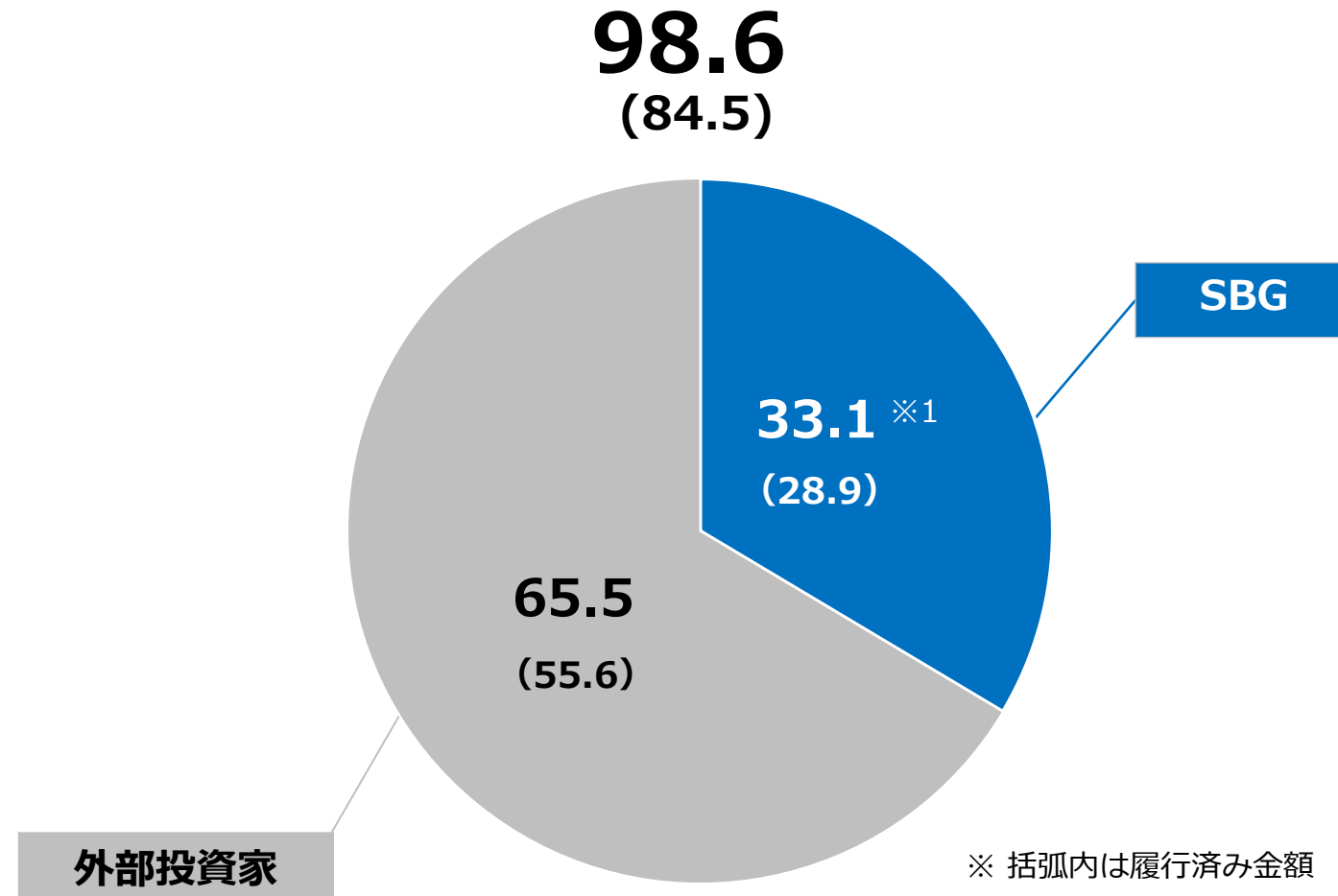


※ 上場株価および為替レートは、2020年12月末時点

- アリババ: SBGの保有株式数に同社の株価を乗じて算出。下記の同社株式を活用したアセットファイナンスの決済に必要な金額を控除  
2020年12月31日までに実行された、同社株式を活用した複数の先渡し買戻契約（フロア契約、カラー契約・コールスプレッド）の満期決済金額（2020年12月31日の同社株価で算出）の合計額（24,842億円）およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（6,188億円）を控除
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出。同社株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額(4,984億円)を控除
- Tモバイル: SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券（Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities）を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ローンの負債残高相当額（4,497億円）のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額（2,344億円）を控除。  
（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入総額\$4.38bn）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$2.08bn)を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としています）
- アーム: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- 上場株投資: SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分等にSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額（6,188億円）を加算して算出
- その他: 上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

# SVF1 : コミットメント状況 (2020年12月末)

(\$ bn)



※1 SVF1への当社の出資コミットメントは、Arm Limited株式を活用した約82億米ドル相当の支払義務履行分（全該当株式を抛済済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の25億米ドル（従来の50億米ドルから減額）を含む

# SVF1 : 投資成果 (2020年12月末時点)

(\$ bn)		(a)	(b)	(c) = (b) - (a)
		投資額 ※2	時価 ※1 (グロス)	損益 (グロス)
(A)	上場投資 合計 ※3	\$11.0	\$29.1	+\$18.1
(B)	未上場投資等 合計	\$73.5	\$75.7	+\$2.2
<b>(C)=(A)+(B)</b>	<b>SVF1 合計 (SBG連結目線)</b>	<b>\$84.5</b>	<b>\$104.9</b>	<b>+\$20.4</b>

		(d)	(e)
		累計支払額	価値合計
	<b>SBG 合計 (ネット)</b>	<b>\$26.7</b>	<b>\$36.5</b>
(内訳)	SVF1の純資産価値におけるSBGの持分		\$31.9
	SBGへ分配済の金額 ※4		\$1.7
	SBGが受け取る成功報酬 ※5		\$2.9

※1 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前

※2 投資額：SVF1開始から2020年12月31日までの累計投資額。売却済または一部売却済の投資を含む

※3 SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

※4 SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2020年12月31日までに分配済の金額

※5 SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から2020年12月31日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない

# SVF1 : 上場投資 (2020年12月末時点)

(\$ mil)

会社名	(a) 投資額	(b) 時価 (※2) (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 (※3)
Doordash	680	8,989	+\$8,309	13.2x
Uber	7,666	11,334	+\$3,668	1.5x
Guardant Health	308	2,728	+\$2,420	8.9x
Opendoor	450	1,673	+\$1,223	3.7x
Relay Therapeutics	300	1,160	+\$860	3.9x
全持分売却済 Slack	334	1,007	+\$673	3.0x
全持分売却済 Ping An Good Doctor	400	828	+\$428	2.1x
Vir Biotechnology	199	606	+\$407	3.0x
全持分売却済 10x Genomics	31	338	+\$307	10.9x
OneConnect	100	88	-\$12	0.9x
ZhongAn	550	394	-\$156	0.7x
※1 (A) 上場投資 合計 (グロス)	\$11,017	\$29,145	+\$18,127	2.6x
(B) 未上場投資 <sup>等</sup>	\$73,501	\$75,730	+\$2,230	
(A)+(B) SVF1 合計 (SBG連結目録)	\$84,518	\$104,875	+\$20,357	

※1 上場投資合計：SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

※2 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額。売却済の投資先の売却価額は取引手数料、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載

※3 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない

SBG連結目録：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない

# SVF2 : 投資成果 (2020年12月末時点)

(\$ bn)

	(a) 投資額 ※2	(b) 時価 ※1 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)
<b>SVF2 合計</b>	\$4.3	\$9.3	+\$5.0

	(d) 累計支払額	(e) 価値合計
<b>SBG 合計 (ネット)</b>	\$4.4	\$9.3
(内訳)		
SVF2の純資産価値におけるSBGの持分		\$8.1
SBGへ分配済の金額 ※3		-
SBGが受け取る成功報酬 ※4		\$1.2

※1 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前

※2 投資額：SVF2開始から2020年12月31日までの累計投資額

※3 SBGへ分配済の金額：SVF2開始時から2020年12月31日までに分配済の金額

※4 SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF2開始時から2020年12月31日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計



# SVF2 : 上場投資 (2020年12月末時点)

(\$ mil)

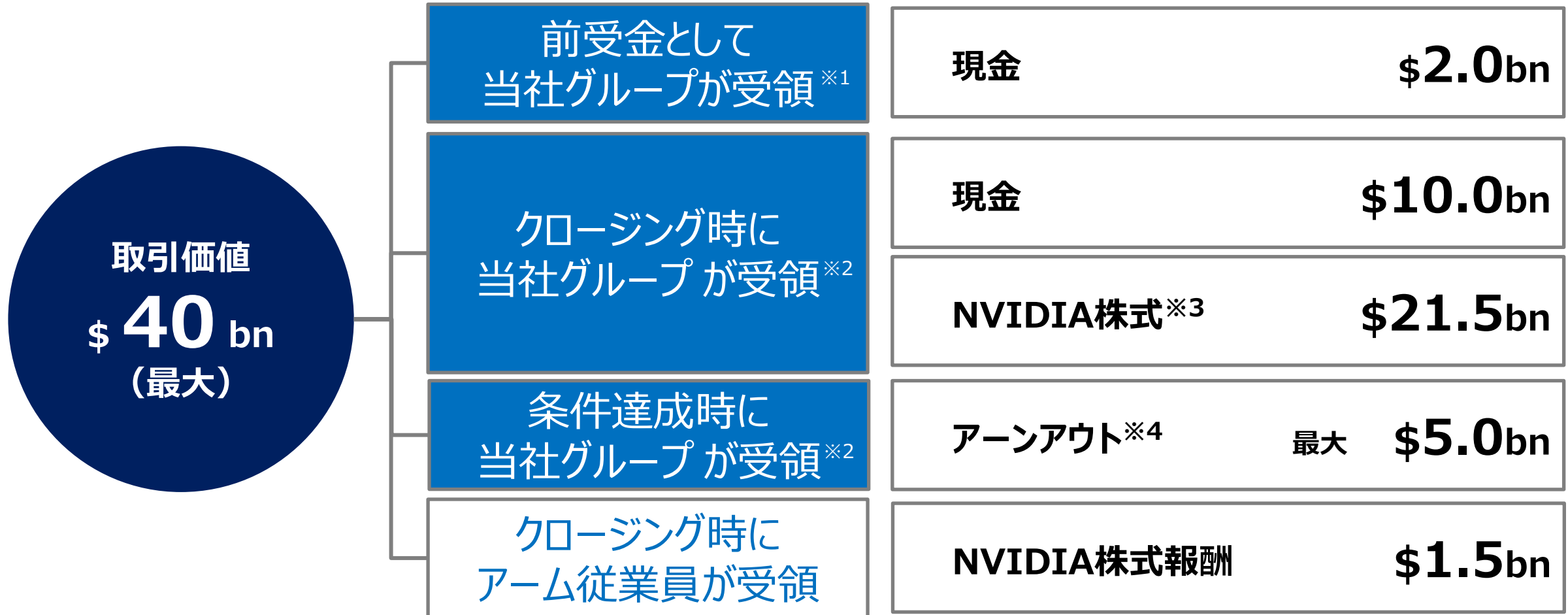
会社名	(a) 投資額	(b) 時価 ( <small>※2</small> グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 ( <small>グロス</small> )	(d) = (b) / (a) 倍率 <small>※3</small>
Beike	1,350	6,433	+\$5,083	4.8x
Seer	55	163	+\$108	3.0x
<small>※1</small> (A) 上場投資 合計 (グロス)	\$1,405	\$6,596	+\$5,191	4.7x
(B) 未上場投資	\$2,905	\$2,720	-\$185	
(A)+(B) SVF2 合計	\$4,310	\$9,316	+\$5,006	

※1 上場投資 合計 : SVF2からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

※2 時価(グロス)=売却前の投資先の公正価値。諸費用等考慮前のリターンを掲載

※3 倍率 : Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない

## 当社はNVIDIAの主要株主（約6.7-8.1%見込）として長期的な成功に引き続きコミット



※1 Softbank Group Capital Limited (SBGC) およびアーム

※2 SBGCおよびSVF1

※3 SBGC およびSVF 1は、本取引のクロージング時にNVIDIA 普通株式44,366,423 株を受取。株式数は1株当たり484.6007米ドル（20年9月10日に終了した連続した30取引日の同社普通株式終値の平均）に基づき決定

※4 22年3月31日に終了する1年間のアームの売上高およびEBITDA（調整後ベース）がNVIDIAと合意した目標値またはフロア値を達成することを条件とした支払。最大合計50億米ドルの現金またはNVIDIA 普通株式最大10,317,772株を受取

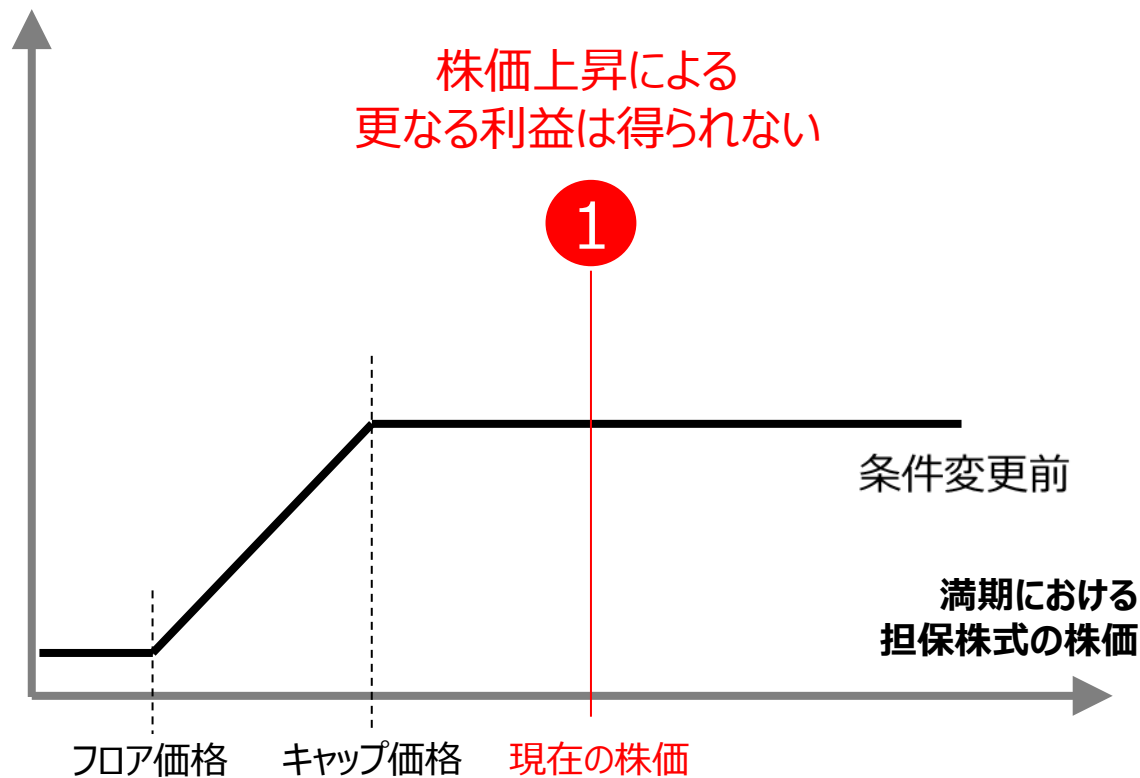
※ 1ドル=105.80円

# カラー取引の条件変更

株価上昇時のアップサイドを追求すべく、カラー取引の条件変更を実施。取引コストを一時的損失として計上

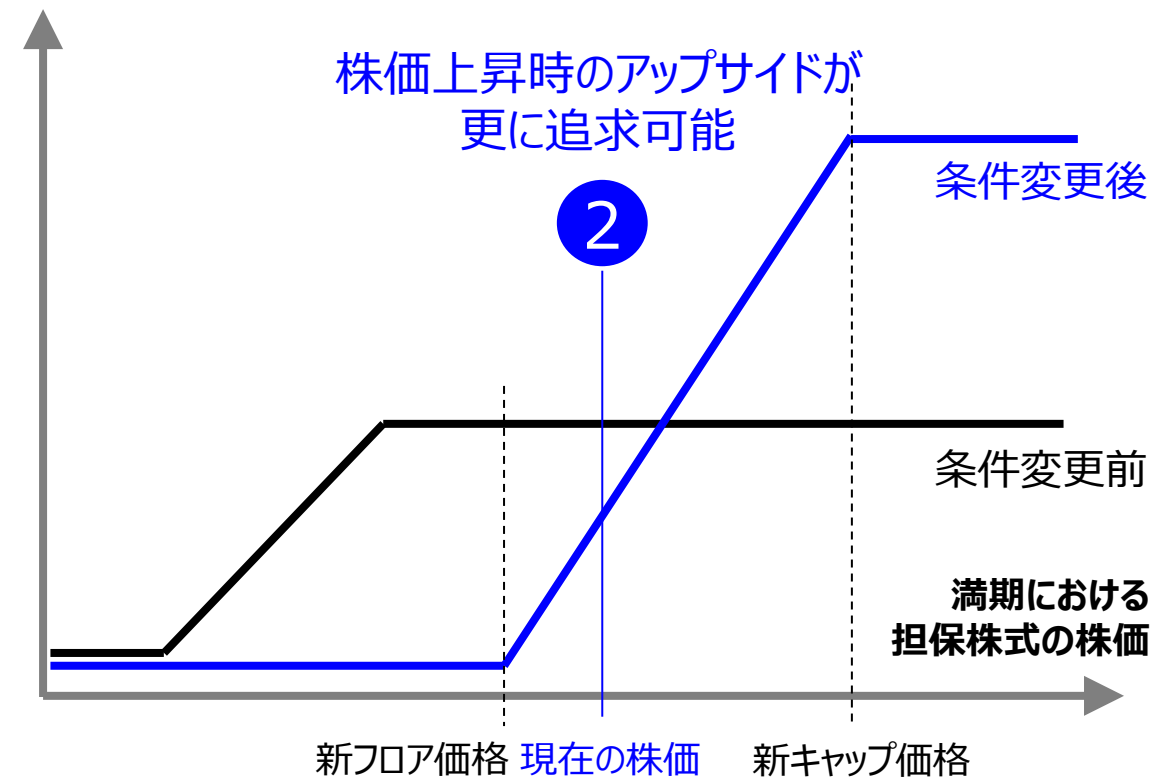
条件変更前

カラー取引の損益



条件変更後

カラー取引の損益



# 連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

## 連結有利子負債※1

(単位:億円)

	Dec.19	Mar.20	Jun.20	Sep.20	Dec.20
<b>SBG単体</b>	79,690	82,813	98,036	93,198	<b>112,189</b>
うち、SB Northstar	-	-	-	3,643	15,288
<b>SVF1およびSVF2</b>	7,213	5,815	1,591	1,563	<b>2,603</b>
ソフトバンク事業	53,511	50,811	55,735	57,153	<b>58,045</b>
その他（アーム等）	3,071	3,283	3,329	3,063	<b>3,397</b>
スプリント事業※2	49,015	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>192,500</b>	<b>142,722</b>	<b>158,691</b>	<b>154,978</b>	<b>176,234</b>

## 連結手元流動性※3

(単位:億円)

	Dec.19	Mar.20	Jun.20	Sep.20	Dec.20
<b>SBG単体</b>	17,289	18,183	41,581	46,016	<b>34,375</b>
うち、SB NorthStar	-	-	-	21,750	13,893
<b>SVF1およびSVF2</b>	1,526	1,984	2,576	1,084	<b>469</b>
ソフトバンク事業	9,001	8,211	10,447	13,177	<b>12,954</b>
その他（アーム等）	4,165	4,069	4,582	3,991	<b>4,571</b>
スプリント事業※4	3,551	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>35,532</b>	<b>32,446</b>	<b>59,187</b>	<b>64,268</b>	<b>52,368</b>

## 連結純有利子負債※5

(単位:億円)

	Dec.19	Mar.20	Jun.20	Sep.20	Dec.20
<b>SBG単体</b>	62,401	64,630	56,455	47,182	<b>77,814</b>
うち、SB NorthStar	-	-	-	-18,107	1,395
<b>SVF1およびSVF2</b>	5,687	3,832	-985	480	<b>2,135</b>
ソフトバンク事業	44,510	42,600	45,288	43,977	<b>45,090</b>
その他（アーム等）	-1,093	-786	-1,253	-928	<b>-1,173</b>
スプリント事業※6	45,464	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>156,968</b>	<b>110,276</b>	<b>99,505</b>	<b>90,710</b>	<b>123,866</b>

表の注記（※1～※6）についてはp58に記載

## 注記

### 連結有利子負債

- ※1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。ジャパンネット銀行の銀行業の預金は含まない。2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上
- ※2 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、以降のスプリント事業の有利子負債は連結有利子負債に含まれない

### 連結手元流動性

- ※3 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。ジャパンネット銀行の手元流動性は含まない
- ※4 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、以降のスプリント事業の手元流動性は連結手元流動性に含まれない

### 連結純有利子負債

- ※5 ジャパンネット銀行の(銀行業の預金 - 手元流動性)は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ。2019年6月期からIFRS16適用に伴い従前オペレーティング・リースに分類されていたリース取引を「リース負債」として従前のリース債務と合算して計上
- ※6 2020年3月期からスプリント事業が非継続事業に分類されたことに伴い、以降のスプリント事業の純有利子負債は連結純有利子負債に含まれない

